

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2010年7月15日(15.07.2010)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 2010/079807 A1

- (51) 国際特許分類:
A61F 13/15 (2006.01) A61F 13/511 (2006.01)
A61F 13/472 (2006.01) A61F 13/56 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2010/050105
- (22) 国際出願日: 2010年1月7日(07.01.2010)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2009-002086 2009年1月7日(07.01.2009) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): ユニ・チャーム株式会社(UNICHARM CORPORATION) [JP/JP]; 〒7990111 愛媛県四国中央市金生町下分182番地 Ehime (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 工藤 淳 (KUDO, Jun) [JP/JP]; 〒7691602 香川県観音寺市豊浜町和田浜1531-7 ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター内 Kagawa (JP). 木下英之 (KINOSHITA, Hideyuki) [JP/JP]; 〒7691602 香川県観音寺市豊浜町和田浜1531-7 ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター内 Kagawa (JP). 高橋 雄二 (TAKAHASHI, Yuji)

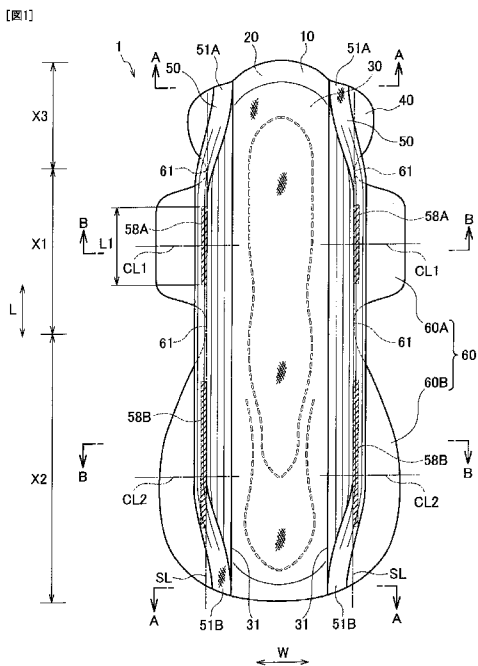
[JP/JP]; 〒7691602 香川県観音寺市豊浜町和田浜1531-7 ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター内 Kagawa (JP). 南 真理(MINAMI, Mari) [JP/JP]; 〒7691602 香川県観音寺市豊浜町和田浜1531-7 ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター内 Kagawa (JP). フィチエットキットジャワット サリニー (PHICHETKITJAWAT, Sarinee) [TH/JP]; 〒7691602 香川県観音寺市豊浜町和田浜1531-7 ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター内 Kagawa (JP). 橋野 央 (HASHINO, Akira) [JP/JP]; 〒7691602 香川県観音寺市豊浜町和田浜1531-7 ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター内 Kagawa (JP).

- (74) 代理人: 三好 秀和, 外 (MIYOSHI, Hidekazu et al.); 〒1050001 東京都港区虎ノ門一丁目2番8号 虎ノ門琴平タワー Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PE, PG, PH, PL,

[続葉有]

(54) Title: ABSORBENT ARTICLE

(54) 発明の名称: 吸収性物品



(57) Abstract: Disclosed is an absorbent article (1) which comprises front wing parts (60A) which are provided further outwards in the width direction (W) of the absorbent article (1) than an absorbent body (30) and which extend outwards in the width direction (W) of the absorbent body (30) in a crotch region (X1) corresponding to the crotch area of a wearer, and gathers (50) which are provided at edges (31) on both sides of the absorbent body (30), extend in the length direction (L) of the absorbent article (L), and prevent bodily fluids of the wearer from leaking from the absorbent article (1). The front wing parts (60A) have base portions (61) which constitute the innermost parts of the front wing parts (60A) in the width direction (W) of the absorbent article (1). The gathers (50) extend further outwards in the width direction (W) of the absorbent article (1) than the base parts (61) when seen in the plane of the absorbent article (1).

(57) 要約: 本発明に係る吸収性物品1は、吸収体30よりも吸収性物品1の幅方向W外側に設けられ、着用者の股下部に対応する股下領域X1において吸収体30の幅方向W外側に延出する前方ウィング部60Aと、吸収体30の両側縁部31に設けられ、吸収性物品1の長手方向Lに沿って伸び、着用者の体液が吸収性物品1から漏れることを防止するギャザー50とを備える。前方ウィング部60Aは、前方ウィング部60Aのうち最も吸収性物品1の幅方向W内側に位置する付け根部分61を有する。ギャザー50は、吸収性物品1の平面視において、付け根部分61よりも吸収性物品1の幅方向W外側に延出することを要旨とする。

WO 2010/079807 A1



PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV,
SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC,
VN, ZA, ZM, ZW.

GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL,
NO, PL, PT, RO, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ,
CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN,
TD, TG).

(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保
護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ,
NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア
(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ
(AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB,

添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

明 細 書

発明の名称： 吸収性物品

技術分野

[0001] 本発明は、液透過性の表面シートと、液不透過性の裏面シートと、表面シートと裏面シートとの間に設けられる吸収体とを備える吸収性物品に関する。

背景技術

[0002] 従来、生理用ナプキンやパンティライナーなどの吸収性物品は、着用者の前側（腹側）から後ろ側（背中側）に延びる縦長の形状を有する。一般的に、吸収性物品は、液透過性の表面シートと、液不透過性の裏面シートと、表面シートと裏面シートとの間に設けられる吸収体とを備える。

[0003] このような吸収性物品には、着用者の体液が吸収性物品から漏れることを防止するギャザー（防漏部）が設けられる。ギャザーは、吸収性物品の長手方向に沿って設けられ、吸収体の両側縁部に固定される固定端を有する。

[0004] ギャザーの内部には、一般的に、伸縮性を有するゴムなどの紐状体が伸長された状態で設けられる。伸長された紐状体は伸長前の状態に復元しようとするため、吸収性物品が丸まることによって、固定端を基点として表面シートから離れる起立方向へ立ち上がる。このため、吸収性物品（特に、ギャザー）が着用者の肌に接しやすくなり、吸収体の両側縁部から体液が漏れる横漏れを防止できる（例えば、特許文献1参照）。

[0005] ところで、吸収性物品には、ショーツから吸収性物品がズレてしまうことを防止することが求められているため、前方ウィング部が設けられる。前方ウィング部は、ショーツのクロッチ部（股下部）に折り返されて、ショーツに止められる。前方ウィング部は、吸収体よりも吸収性物品の幅方向外側に設けられ、吸収体の幅方向外側に延出する。

先行技術文献

特許文献

[0006] 特許文献1：特開2000-288025号公報

発明の概要

[0007] 上述した従来の吸収性物品には、次のような問題があった。すなわち、ギャザーが吸収体上に倒れ込んでしまうと、倒れ込んだギャザー上を体液が通過し、横漏れが発生する場合があった。このような横漏れを極力抑制するために、前方ウィング部の面積を大きくすること、例えば、前方ウィング部を吸収性物品の長手方向に長くすることが考えられる。

[0008] しかし、前方ウィング部が吸収性物品の長手方向に長すぎてしまうと、前方ウィング部をショーツのクロッチ部に折り返すことが困難となってしまい、吸収性物品の取り扱いが面倒になってしまう。例えば、着用者は、無理に前方ウィング部をショーツのクロッチ部に折り返してしまうと、表面シートや前方ウィング部にシワが発生し、使用時における違和感を着用者に与えるおそれがあった。

[0009] そこで、本発明は、使用時における違和感を着用者に与えることなく、吸収性物品の取り扱いが容易となり、さらに確実に横漏れを防止できる吸収性物品の提供を目的とする。

[0010] 上述した課題を解決するため、本発明は、次のような特徴を有している。まず、本発明の第1の特徴は、液透過性の表面シート（表面シート10）と、液不透過性の裏面シート（裏面シート20）と、前記表面シートと前記裏面シートとの間に設けられる吸収体（吸収体30）とを備える吸収性物品（例えば、吸収性物品1）であって、前記吸収体よりも前記吸収性物品の幅方向外側に設けられ、着用者の股下部に対応する股下領域において前記吸収体の幅方向外側に延出する前方ウィング部（前方ウィング部60A）と、前記吸収体の両側縁部（両側縁部31）に設けられ、前記吸収性物品の長手方向に沿って延び、着用者の体液が前記吸収性物品から漏れることを防止する防漏部（例えば、ギャザー50）とを備え、前記前方ウィング部は、前記前方ウィング部のうち最も前記吸収性物品の幅方向内側に位置する付け根部分（付け根部分61）を有し、前記防漏部は、前記吸収性物品の平面視において

、前記付け根部分よりも前記吸収性物品の幅方向外側に延出することを要旨とする。

[0011] 本発明の特徴によれば、使用時における違和感を着用者に与えることなく、吸収性物品の取り扱いが容易となり、さらに確実に横漏れを防止できる吸収性物品を提供することができる。

図面の簡単な説明

[0012] [図1]図1は、第1実施形態に係る吸収性物品1の側部開状態における平面図である。

[図2]図2は、第1実施形態に係る吸収性物品1の側部開状態における断面図である。

[図3]図3は、第1実施形態に係る吸収性物品1の側部閉状態における平面図である。

[図4]図4は、第1実施形態に係る吸収性物品1の側部閉状態における断面図である。

[図5]図5は、第2実施形態に係る吸収性物品1Aの側部開状態における平面図である。

[図6]図6は、第2実施形態に係る吸収性物品1Aの側部開状態における断面図である。

[図7]図7は、第2実施形態に係る吸収性物品1Aの側部閉状態における平面図である。

[図8]図8は、第2実施形態に係る吸収性物品1Aの側部閉状態における断面図である（その1）。

[図9]図9は、第2実施形態に係る吸収性物品1Aの側部閉状態における断面図である（その2）。

[図10]図10は、第3実施形態に係る吸収性物品1Bの側部開状態における平面図である。

[図11]図11は、第3実施形態に係る吸収性物品1Bの側部開状態における断面図である（その1）。

[図12] 図12は、第3実施形態に係る吸収性物品1Bの側部開状態における断面図である（その2）。

[図13] 図13は、第3実施形態の変形例1に係る吸収性物品1Cの側部開状態における断面図である。

[図14] 図14は、第3実施形態の変形例2に係る吸収性物品1Dの側部開状態における平面図である。

[図15] 図15は、第3実施形態の変形例3に係る吸収性物品1Eの側部開状態における平面図である。

[図16] 図16は、第4実施形態に係る吸収性物品1Fの側部開状態における平面図である。

[図17] 図17は、第4実施形態に係る吸収性物品1Fの側部開状態における断面図である。

[図18] 図18は、第4実施形態の変形例に係る吸収性物品1Gの側部開状態における平面図である。

[図19] 図19は、第4実施形態の変形例に係る吸収性物品1Gの側部開状態における断面図である。

発明を実施するための形態

[0013] 以下において、本発明に係る吸収性物品について、図面を参照しながら説明する。具体的には、第1実施形態、第2実施形態、第3実施形態、第4実施形態及びその他の実施形態について説明する。

[0014] なお、以下の図面の記載において、同一または類似の部分には、同一または類似の符号を付している。ただし、図面は模式的なものであり、各寸法の比率などは現実のものとは異なることに留意すべきである。

[0015] したがって、具体的な寸法などは以下の説明を参酌して判断すべきものである。また、図面相互間においても互いの寸法の関係や比率が異なる部分が含まれていることは勿論である。

[0016] [第1実施形態]

まず、第1実施形態に係る吸収性物品について、図面を参照しながら説明

する。

[0017] まず、第1実施形態に係る吸収性物品1の構成について、図面を参照しながら説明する。図1は、第1実施形態に係る吸収性物品1の側部開状態における平面図である。図2(a)は、第1実施形態に係る吸収性物品1の側部開状態における断面図(図1のA-A断面図)である。図2(b)は、第1実施形態に係る吸収性物品1の側部開状態における断面図(図1のB-B断面図)である。

[0018] 図3は、第1実施形態に係る吸収性物品1の側部閉状態における平面図である。図4(a)は、第1実施形態に係る吸収性物品1の側部閉状態における断面図(図3のC-C断面図)である。図4(b)は、第1実施形態に係る吸収性物品1の側部閉状態における断面図(図3のD-D断面図)である。第1実施形態では、吸収性物品1は、生理用ナプキンとする。

[0019] 図1~図4に示すように、吸収性物品1は、着用者の前側から後ろ側に延びる縦長の形状を有する。吸収性物品1は、着用者の肌に接する液透過性の表面シート10と、表面シート10よりも非着用者側に設けられる液不透過性の裏面シート20と、表面シート10と裏面シート20との間に設けられる吸収体30と、吸収性物品1の長手方向Lに直交する吸収体30の幅方向W外側に設けられるサイドシート40とを備える。

[0020] また、吸収性物品1は、吸収体30の両側縁部31に設けられ、吸収性物品1の長手方向Lに沿って延びるギャザー50(防漏部)と、吸収体30よりも吸収性物品1の幅方向W外側に設けられ、吸収体30の幅方向W外側に延出するウィング部60とをさらに備える。なお、ギャザー50の構成については、後述する。

[0021] ウィング部60は、裏面シート20及びサイドシート40によって構成される。ウィング部60は、ギャザー50と色相が異なる。ウィング部60は、液不透過性の材料によって形成される。ウィング部60は、カンチレバーを用いた曲げ剛性が150mm以下(特に、100mm以下)であることが好ましい。

- [0022] ウィング部60は、ショーツのクロッチ部（股下部）に折り返され、ショーツに止められる前方ウィング部60Aと、前方ウィング部60Aよりも着用者の後ろ側に設けられ、ショーツの形状に沿って吸収性物品1の幅方向W外側に延出する後方ウィング部60Bとによって構成される。
- [0023] 前方ウィング部60Aは、着用者の股下部に対応する股下領域X1において吸収体30の幅方向W外側に延出する。前方ウィング部60Aには、前方ウィング部60Aのうち最も吸収性物品1の幅方向W内側に位置する付け根部分61が形成される。
- [0024] 後方ウィング部60Bは、前方ウィング部60Aよりも着用者の後ろ側に対応する後方領域X2において吸収体30の幅方向W外側に延出する。つまり、後方ウィング部60Bは、前方ウィング部60Aよりも着用者の後ろ側に設けられる。
- [0025] ウィング部60（前方ウィング部60A及び後方ウィング部60B）や吸収体30における裏面シート20側の面には、ショーツから吸収性物品1がズレることを防止する粘着性を有するズレ止め部70（例えば、ホットメルト）が設けられる。
- [0026] 次に、上述したギャザー50の構成について、図1～図4を参照しながら説明する。
- [0027] 図1～図4に示すように、ギャザー50は、着用者の体液が吸収性物品1から漏れることを防止する。ギャザー50は、不織布や開孔フィルムなどによって形成される。
- [0028] ギャザー50は、表面シート10やサイドシート40とは異なるシートによって形成される。なお、ギャザー50は、必ずしも表面シート10やサイドシート40とは異なる別のシートによって構成される必要はなく、サイドシート40が延長されることによって形成されていてもよい。
- [0029] 図1及び図2に示すように、ギャザー50は、着用時において、表面シート10から離れる方向（以下、起立方向T）、すなわち、着用者側へ向かって立ち上がる。また、図3及び図4に示すように、ギャザー50は、吸収性

物品 1 の側部閉状態、すなわち、ギャザー 50 が立ち上がっていない状態において、表面シート 10 上に複数折り返されている。

- [0030] ここで、吸収性物品 1 の側部閉状態とは、吸収体 30 とウィング部 60 との境から、ウィング部 60 が表面シート 10 側に折り返される際に、当該ウィング部 60 と一緒にギャザー 50 が表面シート 10 上に配置され、ギャザー 50 が表面シート 10 上に複数回折り畳まれた状態である。なお、吸収性物品 1 の側部閉状態では、最も上側に配置されるズレ止め部 70 と包装材（不図示）との間に、ズレ止め部 70 を被覆する離型シート（不図示）が設けられてもよい。
- [0031] ギャザー 50 の内部には、吸収性物品 1 の長手方向 L に沿って配置され、伸縮性を有するゴムなどの紐状体 80（図 2 及び図 4 参照）が伸張された状態で設けられる。ギャザー 50 は、着用者の前側に位置する前端部分 51 A と、着用者の後ろ側に位置する後端部分 51 B とを備える。
- [0032] 前端部分 51 A 及び後端部分 51 B では、表面シート 10 上に畳まれたギャザー 50 の層間にホットメルトが施されている。また、前端部分 51 A 及び後端部分 51 B では、表面シート 10 上に畳まれたギャザー 50 の全層にエンボス処理が施される（不図示）。このように、前端部分 51 A 及び後端部分 51 B では、ギャザー 50 は、複数折り返されて表面シート 10 上に折り畳まれた状態で吸収性物品 1 に接合されている。
- [0033] これにより、ギャザー 50 は、着用時において、着用者側に向かって立ち上がり、股下領域 X 1、後方領域 X 2 に中空部が形成される。このようなギャザー 50 は、ギャザー本体部 52 と、固定端 56 と、自由端 57 とを有する。
- [0034] ギャザー本体部 52 は、吸収性物品 1 の長手方向 L に沿ったシート状をなしている。ギャザー本体部 52 は、吸収性物品 1 の幅方向 W における断面視（図 4 参照）において、ギャザー 50 が表面シート 10 上に複数回折り畳まれた状態で最も着用者側に位置する最外片部分 53 と、最外片部分 53 の両側縁部 31 側に位置する下片部分 54 と、最外片部分 53 と下片部分 54 と

を繋ぐ連続部分 55 とを少なくとも有する。

- [0035] 最外片部分 53 は、ギャザー 50 の起立方向 T で最も着用者側に位置する最外面 53A と、最外面 53A の反対側、すなわち、下片部分 54 側に位置する最内面 53B とを有する。
- [0036] 固定端 56 は、吸収性物品 1 の長手方向 L に沿って設けられ、両側縁部 31 にエンボス部 E が施されることによって固定（接合）される。なお、固定端 56 は、吸収体 30 の両側縁部 31 に設けられていればよく、吸収体 30 よりも幅方向 W 外側に設けられていてもよく、吸収体 30 の両側縁上に設けられていてもよい。
- [0037] 固定端 56 は、ギャザー 50 が起立方向 T へ立ち上がる際の基点となる。つまり、ギャザー 50 は、固定端 56 を基点として表面シート 10 から離れる起立方向 T へ立ち上がる。
- [0038] 自由端 57 は、吸収性物品 1 の長手方向 L に沿って設けられ、両側縁部 31 よりも着用者側に位置する。自由端 57 は、ギャザー 50 が表面シート 10 上に複数回折り畳まれた状態において、吸収性物品 1 の幅方向 W 外側に向かう。具体的には、自由端 57 は、最外片部分 53 の先端部に位置し、連続部分 55 よりも吸収性物品 1 の幅方向 W 外側に設けられる。自由端 57 は、ギャザー本体部 52 とウイング部 60（サイドシート 40）との間に設けられる（図 2 及び図 4 参照）。
- [0039] このようなギャザー 50 は、吸収性物品 1 の平面視（図 1 及び図 3 参照）において、付け根部分 61 よりも吸収性物品 1 の幅方向 W 外側に延出する。つまり、ギャザー 50 は、付け根部分 61 と重なっている。また、ギャザー 50 の少なくとも一部は、接合部分 58 において、ホットメルト等の接着剤によりウイング部 60 と接合される。
- [0040] 次に、上述した接合部分 58 の配置箇所について、図 1～図 4 を参照しながら説明する。
- [0041] 図 1～図 4 に示すように、接合部分 58 において、ウイング部 60 と最外片部分 53 の少なくとも一部とが接合される。具体的には、ギャザー 50 が

表面シート 10 上に複数回折り畳まれた状態において、サイドシート 40 と最外片部分 53 の最外面 53 A とは、接合部分 58 において接合されている。

- [0042] 接合部分 58 は、前方ウィング部 60 A に設けられる前方接合部分 58 A と、後方ウィング部 60 B に設けられる後方接合部分 58 B とによって構成される。
- [0043] 前方接合部分 58 A は、吸収性物品 1 の平面視において、前方ウィング部 60 A における吸収性物品 1 の長手方向 L 中心を通り、吸収性物品 1 の幅方向 W に沿って延びる中心線 C L 1 を含む位置に設けられる。前方接合部分 58 A は、中心線 C L 1 に対して均等に設けられることが好ましい。
- [0044] 前方接合部分 58 A における吸収性物品 1 の長手方向 L に沿った長さ L 1 (図 1 参照) は、ズレ止め部 70 における吸収性物品 1 の長手方向 L に沿った長さ L 2 (図 3 参照) よりも長い。
- [0045] 一方、後方接合部分 58 B は、吸収性物品 1 の平面視において、後方ウィング部 60 B における吸収性物品 1 の長手方向 L 中心を通り、吸収性物品 1 の幅方向 W に沿って延びる中心線 C L 2 を含む位置に設けられる。
- [0046] 接合部分 58 (前方接合部分 58 A 及び後方接合部分 58 B) は、付け根部分 61 の最も幅方向 W 外側を通り、吸収性物品 1 の長手方向 L に沿って延びる基準線 S L 近傍、具体的には、基準線 S L よりも幅方向外側に位置する。特に、接合部分 58 は、基準線 S L とウィング部 60 の幅方向 W 中心部との間に位置することが好ましい。
- [0047] ここで、エンボス部 E (例えば、エンボス部 E の幅方向 W 内側に位置する内側端) から、接合部分 58 (例えば、接合部分 58 の幅方向 W 内側に位置する外側端) までの幅方向 W の長さ Y 1 は、エンボス部 E から接合部分 58 までのギャザー 50 の長さ Y 2 以下である ($Y 1 \leq Y 2$)。具体的には、エンボス部 E から接合部分 58 までの幅方向 W の長さ Y 1 は、エンボス部 E から接合部分 58 までのギャザー 50 の長さ Y 2 に対して $1/2$ 以下、特に、 $1/3$ 以下であることが好ましい (図 2 参照)。

- [0048] エンボス部Eから接合部分58までのギャザー50の長さY2は、ギャザー50の幅方向Wにおける最大長さY3よりも長い ($Y2 \geq Y3$)。
- [0049] 第1実施形態では、ギャザー50は、吸収性物品1の平面視において、付け根部分61よりも吸収性物品1の幅方向W外側に延出するため、ギャザー50が付け根部分61を覆う。このため、前方ウィング部60Aの面積を大きくしなくても、横漏れを確実に防止できる。これにより、ウィング部60と一緒に付け根部分61がショーツに折り返されることなく、表面シート10や前方ウィング部60Aにシワが発生することを抑制できる。従って、使用時における違和感を着用者に与えることなく、吸収性物品1の取り扱いが容易となる。
- [0050] ところで、ギャザー50が接合部分58を有していないと、着用時における着用者の動作によってギャザー50が吸収体30の上に倒れ込むことがあり、吸収体30の両側縁部31を覆ってしまう場合ある。
- [0051] これに対して、第1実施形態では、ギャザー50（防漏部）の少なくとも一部は、前方接合部分58Aにおいて前方ウィング部60Aと接合される。また、前方接合部分58Aは、基準線SL近傍、具体的には、基準線SLよりも幅方向外側に位置する。これによれば、ギャザー50が吸収性物品1の幅方向W外側に開いた状態において、ギャザー50が前方ウィング部60Aとともに吸収性物品1の幅方向W外側に引っ張られる状態となる。このため、ギャザー50が吸収体30上に倒れ込むことを防止でき、吸収体30の両側縁部31を覆ってしまうことを確実に抑制できる。従って、ギャザー50の倒れ込みによる吸収体30の吸収面積の減少を防止し、さらに確実に横漏れを防止できる。
- [0052] 第1実施形態では、ギャザー50は、吸収性物品1の長手方向Lに伸縮性を有する。これによれば、ギャザー50が起立方向Tへ（すなわち、ギャザー50が着用時において着用者へ）確実に立ち上がるため、付け根部分61からの横漏れをさらに確実に防止できる。
- [0053] 第1実施形態では、ギャザー50（防漏部）の少なくとも一部は、後方接

合部分 158B において後方ウィング部 60B と接合される。これによれば、前方ウィング部 60A と後方ウィング部 60B との間に位置する付け根部分 61 がギャザー 50 によって確実に覆われる。このため、当該付け根部分 61 からの横漏れ（斜め漏れなど）をさらに確実に防止できる。

[0054] 第 1 実施形態では、前方接合部分 58A は、吸収性物品 1 の平面視において、中心線 CL1 を含む位置に設けられる。特に、前方接合部分 58A は、中心線 CL1 に対して均等に設けられることが好ましい。

[0055] 前方接合部分 58A が中心線 CL1 に対して均等に設けられていないと、前方ウィング部 60A がショーツのクロッチ部に折り返された際に、前方接合部分 58A の前後に位置する紐状体 80 の伸縮力が異なってしまう。

[0056] このような場合には、伸縮力が強められた紐状体 80 の方が伸張前の状態に復元されやすくなっているため、例えば、片側の前方ウィング部 60A のみが表面シート 10 側に戻され易くなることがある。そのため、着用者にとっては、吸収性物品 1 をショーツに装着するときの取り扱いが煩雑になってしまう。

[0057] これに対して、上述したように、前方接合部分 58A が中心線 CL1 に対して均等に設けられることによって、前方ウィング部 60A 内において紐状体 80 の伸縮力が均等に保たれるため、吸収性物品 1 の取り扱いが容易となる。

[0058] 第 1 実施形態では、前端部分 51A 及び後端部分 51B は、固定端 56 を基点としてギャザー 50 が複数折り返されて表面シート 10 上に折り畳まれた状態において、吸収性物品 1 に接合される。これによれば、ギャザー 50 は、着用時に着用者側に向かって立ち上がり、股下領域 X1、後方領域 X2 に中空部が形成される。このため、ギャザー 50 が着用者にフィットしやすくなり、付け根部分 61 からの横漏れをさらに確実に防止できる。

[0059] 第 1 実施形態では、ウィング部 60 は、液不透過性の材料によって形成される。特に、ウィング部 60 の内部又は表面シート 10 側の面が液透過性の材料によって形成されることが好ましい。これによれば、ギャザー 50 上を

体液が通過し、横漏れが発生してしまった場合であっても、ウィング部60により体液を吸収できる。このため、付け根部分61からの横漏れをさらに確実に防止できる。

[0060] 第1実施形態では、ウィング部60は、カンチレバーを用いた曲げ剛性が150mm以下であることが好ましい。なお、曲げ剛性が150mmよりも小さいと、ウィング部60がショーツの形状に沿いにくく、使用時における違和感を着用者に与えてしまう場合がある。

[0061] 第1実施形態では、ウィング部60は、ギャザー50と色相が異なる。これによれば、着用者は、ウィング部60とギャザー50とを区別しやすくなり、ウィング部60がショーツに折り返されても、ギャザー50が折り返されないことを着用者の視覚に訴えることができる。

[0062] 第1実施形態では、エンボス部Eから接合部分58までの幅方向Wの長さY1は、エンボス部Eから接合部分58までのギャザー50の長さY2に対して $1/2$ 以下、特に、 $1/3$ 以下であることが好ましい。なお、長さY1が長さY2に対して $1/2$ よりも大きいと、ギャザー50が撓みやすく、ギャザー50が十分な中空部を形成しにくく、横漏れを確実に防止できない場合がある。

[0063] 第1実施形態では、吸収性物品1の側部閉状態において、吸収体30とウィング部60との境から、ウィング部60と一緒にギャザー50が表面シート10上に配置され、ギャザー50が起立方向Tへ複数折り返されて表面シート10上に折り畳まれた状態となる。これによれば、吸収性物品1を個包装する場合に、ギャザー50とウィング部60とを吸収体30の幅とほぼ同じ幅に収まるように折り畳むことができるため、コンパクトに包装できる。

[0064] [第2実施形態]

以下において、本発明に係る第2実施形態に係る吸収性物品1Aについて、図面を参照しながら説明する。なお、上述した第1実施形態に係る吸収性物品1と同一部分には同一の符号を付して、相違する部分を主として説明する。

- [0065] ここで、上述した第1実施形態に係る吸収性物品1では、自由端57は、ギャザー50が起立方向Tへ複数折り返されて表面シート10上に折り畳まれた状態において吸収性物品1の幅方向W外側に向かう。これに対して、第2実施形態に係る吸収性物品1Aでは、自由端157は、ギャザー150が起立方向Tへ複数折り返されて表面シート10上に折り畳まれた状態において吸収性物品1Aの幅方向W内側に向かう。
- [0066] まず、第2実施形態に係る吸収性物品1Aのギャザー150の構成について、図5～図8を参照しながら説明する。図5は、第2実施形態に係る吸収性物品1Aの側部開状態における平面図である。図6(a)は、第2実施形態に係る吸収性物品1Aの側部開状態における断面図(図5のA-A断面図)である。図6(b)は、第2実施形態に係る吸収性物品1Aの側部開状態における断面図(図5のB-B断面図)である。
- [0067] 図7は、第2実施形態に係る吸収性物品1Aの側部閉状態における平面図である。図8(a)は、第2実施形態に係る吸収性物品1Aの側部閉状態における断面図(図7のC-C断面図)である。図8(b)は、第2実施形態に係る吸収性物品1Aの側部閉状態における断面図(図7のD-D断面図)である。
- [0068] 図5及び図6に示すように、ギャザー150は、着用時において、起立方向T、すなわち、着用者側へ向かって立ち上がる。また、図7及び図8に示すように、ギャザー150は、吸収性物品1Aの側部閉状態、すなわち、ギャザー150が立ち上がっていない状態において、表面シート10上に複数折り返される。
- [0069] ギャザー150は、着用者の前側に位置する前端部分151Aと、着用者の後ろ側に位置する後端部分151Bとを備える。前端部分151A及び後端部分151Bは、ギャザー150が表面シート10上に畳まれた状態で吸収性物品1Aに接合される。ギャザー150は、ギャザー本体部152と、固定端156と、自由端157とを有する。
- [0070] ギャザー本体部152は、吸収性物品1Aの長手方向Lに沿って設けられ

るシート状をなしている。ギャザー本体部 152 は、吸収性物品 1A の幅方向 W における断面視（図 8 参照）において、ギャザー 150 が複数折り返されて表面シート 10 上に折り畳まれた状態で最も着用者側に位置する最外片部分 153 と、最外片部分 153 の両側縁部 31 側に位置する下片部分 154 と、最外片部分 153 と下片部分 154 とを繋ぐ連続部分 155 とを少なくとも有する。

[0071] 最外片部分 153 は、ギャザー 150 の起立方向 T で最も着用者側に位置する最外面 153A と、最外面 153A の反対側、すなわち、下片部分 154 側に位置する最内面 153B とを有する。

[0072] 固定端 156 は、吸収性物品 1A の長手方向 L に沿って設けられ、両側縁部 31 に固定される。固定端 156 は、ギャザー 50 が起立方向 T へ立ち上がる際の基点となる。つまり、ギャザー 150 は、固定端 156 を基点として表面シート 10 から離れる起立方向 T へ立ち上がる。

[0073] 自由端 157 は、ギャザー 150 が起立方向 T へ複数折り返されて表面シート 10 上に折り畳まれた状態において、吸収性物品 1A の幅方向 W 内側に向かう。具体的には、自由端 157 は、最外片部分 153 の先端部に位置し、連続部分 155 よりも吸収性物品 1A の幅方向 W 内側に設けられる。

[0074] このようなギャザー 150 は、吸収性物品 1A の平面視において、付け根部分 61 よりも吸収性物品 1A の幅方向 W 外側に延出する。ギャザー 150 は、付け根部分 61 と重なっている。また、ギャザー 150 の少なくとも一部は、接合部分 158 において、ウィング部 60 と接合される。

[0075] 次に、上述した接合部分 158 の配置箇所について、図 5～図 8 を参照しながら説明する。

[0076] 図 5～図 8 に示すように、接合部分 158 において、ウィング部 60 と最外片部分 153 の少なくとも一部とが接合される。具体的には、ギャザー 150 が表面シート 10 上に複数回折り返された状態において、サイドシート 40 と最外片部分 153 の最外面 153A とは、接合部分 158 において接合されている。

- [0077] 接合部分 158 では、サイドシート 40 と最外面 153A の少なくとも一部とが接合されていればよく、例えば、図 9 に示すように、サイドシート 40 と下片部分 154 の一部とが接合されてもよい。
- [0078] 接合部分 158 は、前方ウィング部 60A に設けられる前方接合部分 158A と、後方ウィング部 60B に設けられる後方接合部分 158B とによって構成される。なお、前方接合部分 158A 及び後方接合部分 158B の配置箇所については、上述した第 1 実施形態に係る前方接合部分 58A 及び後方接合部分 58B と同様である。
- [0079] 第 2 実施形態に係る吸収性物品 1A によれば、第 1 実施形態と同様に、確実に付け根部分 61 からの横漏れを防止できるとともに、使用時における違和感を着用者に与えることがない。また、着用者にとっては、吸収性物品 1A をショーツに装着するときの取り扱いが容易となる。
- [0080] [第 3 実施形態]
- 以下において、本発明に係る第 3 実施形態に係る吸収性物品 1B について、図面を参照しながら説明する。なお、上述した第 1 実施形態に係る吸収性物品 1 と同一部分には同一の符号を付して、相違する部分を主として説明する。
- [0081] ここで、上述した第 1 実施形態に係る吸収性物品 1 では、ギャザー 50 の前端部分 51A 及び後端部分 51B は、ギャザー 50 が起立方向 T へ複数折り返されて表面シート 10 上に折り畳まれた状態で吸収性物品 1 に接合される。これに対して、第 3 実施形態に係る吸収性物品 1B では、ギャザー 250 の前端部分 251A 及び後端部分 251B は、表面シート 10 上に複数折り返して畳まれずに、吸収性物品 1B に接合される。
- [0082] まず、第 3 実施形態に係る吸収性物品 1B のギャザー 250 の構成について、図 10 及び図 11 を参照しながら説明する。図 10 は、第 3 実施形態に係る吸収性物品 1B の側部開状態における平面図である。図 11 (a) は、第 3 実施形態に係る吸収性物品 1B の側部開状態における断面図 (図 10 の A-A 断面図) である。図 11 (b) は、第 3 実施形態に係る吸収性物品 1

Bの側部開状態における断面図（図10のB-B断面図）である。なお、第3実施形態では、吸収性物品1Bの側部開状態のみについて説明する。

[0083] 図10及び図11に示すように、ギャザー250は、前端部分251Aから後端部分251Bにかけて、吸収性物品1Bの長手方向Lに沿って設けられる。つまり、ギャザー250は、着用者の前側に位置する前端部分251Aと、着用者の後ろ側に位置する後端部分251Bとを備える。前端部分251A及び後端部分251Bは、吸収性物品1Bに接合される。前端部分251A及び後端部分251Bは、表面シート10上に折り畳まれていない。ギャザー250は、ギャザー本体部252と、固定端256と、自由端257とを有する。

[0084] ギャザー本体部252は、吸収性物品1Bの長手方向Lに沿って設けられるシート状をなしている。ギャザー本体部252は、吸収性物品1Bの幅方向Wにおける断面視（図11参照）において、着用者側に位置する外側面252A（最外面）と、最外片部分153の反対側、すなわち、下片部分154側に位置する内側面252Bとを有する。

[0085] 固定端256は、吸収性物品1Bの長手方向Lに沿って設けられ、両側縁部31に固定される。固定端256は、ギャザー250が起立方向Tへ立ち上がる際の基点となる。つまり、ギャザー250は、固定端256を基点として表面シート10から離れる起立方向Tへ立ち上がる。

[0086] 自由端257は、ギャザー250が起立方向Tへ1回折り返されて表面シート10上に折り畳まれた状態において、吸収性物品1Bの幅方向W外側に向かう。

[0087] このようなギャザー250は、吸収性物品1Bの平面視において、付け根部分61よりも吸収性物品1Bの幅方向W外側に延出する。つまり、ギャザー250は、付け根部分61と重なっている。また、ギャザー250の少なくとも一部は、接合部分258において、ウィング部60と接合される。

[0088] 次に、上述した接合部分258の配置箇所について、図10及び図11を参照しながら説明する。

- [0089] 図10及び図11に示すように、接合部分258において、ウィング部60と内側面252Bの少なくとも一部とが接合される。具体的には、サイドシート40と内側面252Bの一部とは、接合部分258において接合されている。
- [0090] 接合部分258では、サイドシート40と内側面252Bの一部とが接合されればよく、例えば、図12に示すように、サイドシート40と中空部を形成するギャザー50の内側面252Bとが接合されてもよい。
- [0091] 接合部分258は、前方ウィング部60Aに設けられる前方接合部分258Aと、後方ウィング部60Bに設けられる後方接合部分258Bとによって構成される。なお、前方接合部分258A及び後方接合部分258Bの配置箇所については、上述した第1実施形態に係る前方接合部分58A及び後方接合部分58Bと同様である。
- [0092] 次に、第3実施形態に係る吸収性物品1Bの変形例について、図面を参照しながら説明する。なお、上述した第3実施形態に係る吸収性物品1Bと同一部分には同一の符号を付して、相違する部分を主として説明する。
- [0093] まず、第3実施形態に係る吸収性物品1Bの変形例について、図13を参照しながら説明する。図13は、変形例1に係る吸収性物品1Cの側部開状態における断面図である。
- [0094] ここで、上述した第3実施形態に係る吸収性物品1Bでは、ギャザー本体部252は、外側面252Aと内側面252Bとを有する。これに対して、変形例1に係る吸収性物品1Cでは、ギャザー本体部252は、最外片部分253と、下片部分254と、連続部分255とを有する。
- [0095] ウィング部60と下片部分254の少なくとも一部とは、接合部分258において接合される。具体的には、接合部分258において、サイドシート40と下片部分254の一部とが接合される。
- [0096] なお、自由端257は、図13に示すように、吸収性物品1Cの幅方向W外側に向かっていてもよく、吸収性物品1Cの幅方向W内側に向かっていてもよい。

- [0097] まず、第3実施形態に係る吸収性物品1Bの変形例について、図14を参照しながら説明する。図14は、変形例2に係る吸収性物品1Dの側部開状態における平面図である。
- [0098] ここで、上述した第3実施形態に係る吸収性物品1Bでは、接合部分258は、前方接合部分258Aと後方接合部分258Bとによって構成される。これに対して、変形例2に係る吸収性物品1Dでは、接合部分258は、前方接合部分258Aと、後方接合部分258Bと、前端接合部分258Cによって構成される。なお、前方接合部分258A及び後方接合部分258Bは、第1実施形態で説明した第1実施形態及び後方接合部分58Bと同様である。
- [0099] 前端接合部分258Cは、前方ウィング部60Aよりも着用者の前側に対応する前方領域X3において吸収体30の幅方向W外側に延出する前端ウィング部60Cに設けられる。なお、前端接合部分258Cは、第1実施形態で説明した前方接合部分58A及び後方接合部分58Bと同様に、基準線S-L近傍に位置することが好ましい。
- [0100] 次に、第3実施形態に係る吸収性物品1Bの変形例について、図15を参照しながら説明する。図15は、変形例3に係る吸収性物品1Eの側部開状態における平面図である。
- [0101] ここで、上述した第3実施形態に係る吸収性物品1Bでは、ギャザー250は、前端部分251Aから後端部分251Bにかけて、吸収性物品1Bの長手方向Lに沿って設けられる。これに対して、変形例3に係る吸収性物品1Eでは、ギャザー250は、前方ウィング部60A近傍にのみ設けられる。
- [0102] 具体的には、ギャザー250は、吸収性物品1は、吸収体30の幅方向W外側に位置する両側縁部31に設けられ、吸収性物品1の長手方向Lに沿って延びる。ギャザー250は、前方ウィング部60Aと前端ウィング部60Cとの間に位置する付け根部分61から、後方ウィング部60Bと前端ウィング部60Cとの間に位置する付け根部分61にかけて設けられる。
- [0103] 第3実施形態に係る吸収性物品1B～1Eによれば、第1実施形態及び第

2実施形態と同様に、使用時における違和感を着用者に与えることなく、吸収性物品1Bの取り扱いが容易となり、さらに確実に付け根部分61からの横漏れを防止できる。

[0104] [第4実施形態]

以下において、本発明に係る第4実施形態に係る吸収性物品1Fについて、図面を参照しながら説明する。なお、上述した第1実施形態に係る吸収性物品1と同一部分には同一の符号を付して、相違する部分を主として説明する。

[0105] ここで、上述した第1実施形態に係る吸収性物品1では、ギャザー50の少なくとも一部が接合部分58を有する。これに対して、第4実施形態に係る吸収性物品1Fでは、ギャザー350が接合部分を有していない。

[0106] まず、第4実施形態に係る吸収性物品1Fのギャザー350の構成について、図16及び図17を参照しながら説明する。図16は、第4実施形態に係る吸収性物品1Fの側部開状態における平面図である。図17(a)は、第4実施形態に係る吸収性物品1Fの側部開状態における断面図(図16のA-A断面図)である。図17(b)は、第4実施形態に係る吸収性物品1Fの側部開状態における断面図(図16のB-B断面図)である。なお、第4実施形態では、吸収性物品1Fの側部開状態のみについて説明する。

[0107] 図16及び図17に示すように、吸収性物品1Fは、ギャザー350に加えて、カバー部360(防漏部)を有する。ギャザー350の内部には、紐状体80が伸張された状態で設けられる。ギャザー350は、着用者の前側に位置する前端部分351Aと、着用者の後ろ側に位置する後端部分351Bとを備える。前端部分351A及び後端部分351Bは、表面シート10上に複数折り返されている。

[0108] カバー部360は、吸収性物品1Fの幅方向W外側に延出する。カバー部360は、ウイング部60(前方ウイング部60A及び後方ウイング部60B)よりも表面シート10側に設けられる。

[0109] カバー部360は、ギャザー350と、裏面シート20側に位置する防水

シート90とによって構成される。なお、防水シート90の代わりに、撥水性や疎水性の不織布等であってもよいことは勿論である。

[0110] カバー部360は、吸収体30から幅方向外側に延出する長さが長い長延出部分360Aと、吸収体30から幅方向外側に延出する長さが短い短延出部分360Bとを有する。

[0111] 長延出部分360Aは、吸収性物品1Fの平面視において、付け根部分61上に位置する。長延出部分360Aは、吸収性物品1Fの平面視において、付け根部分61よりも吸収性物品1Fの幅方向W外側に延出する。つまり、長延出部分360Aは、付け根部分61と重なっている。

[0112] 短延出部分360Bは、吸収性物品1Fの平面視において、ウィング部60（前方ウィング部60A及び後方ウィング部60B）上に位置する。短延出部分360Bは、ウィング部60よりも吸収体30から幅方向外側に延出する長さが短い。

[0113] ここで、第4実施形態では、カバー部360は、ウィング部60（前方ウィング部60Aや後方ウィング部60B、前端ウィング部60C）と接合されていないが、ウィング部60と接合されていてもよい。また、吸収性物品1Fは、必ずしもギャザー350を有している必要はなく、カバー部360を有していればよい。

[0114] 次に、第4実施形態に係る吸収性物品1Fの変形例について、図18及び図19を参照しながら説明する。図18は、変形例に係る吸収性物品1Gの側部開状態における平面図である。図19（a）は、変形例に係る吸収性物品1Gの側部開状態における断面図（図18のA-A断面図）である。図19（b）は、変形例に係る吸収性物品1Gの側部開状態における断面図（図18のB-B断面図）である。

[0115] ここで、上述した第4実施形態に係る吸収性物品1Fでは、カバー部360は、ウィング部60よりも表面シート10側に設けられる。これに対して、変形例に係る吸収性物品1Gでは、カバー部460は、ウィング部60よりも裏面シート20側に設けられる。

- [0116] 具体的には、図18及び図19に示すように、吸収性物品1Gは、ウィング部60と重なるカバー部460を有する。カバー部460は、表面シート10と同一部材からなる表面側シート10Aと、裏面シート20側に位置する防水シート90とによって構成される。カバー部460は、吸収体30から幅方向外側に延出する長さ長い長延出部分460Aと、吸収体30から幅方向外側に延出する長さ短い短延出部分460Bとを有する。
- [0117] 長延出部分460Aは、吸収性物品1Gの平面視において、付け根部分61上に位置する。長延出部分460Aは、吸収性物品1Gの平面視において、付け根部分61よりも吸収性物品1Gの幅方向W外側に延出する。つまり、長延出部分460Aは、付け根部分61と重なっている。
- [0118] 短延出部分460Bは、吸収性物品1Gの平面視において、ウィング部60（前方ウィング部60A及び後方ウィング部60B）上に位置する。短延出部分460Bは、ウィング部60よりも吸収体30から幅方向外側に延出する長さ短い。
- [0119] 第4実施形態に係る吸収性物品1F, 1Gによれば、第1実施形態、第2実施形態及び第3実施形態と同様に、使用時における違和感を着用者に与えることなく、吸収性物品1F, 1Gの取り扱いが容易となり、さらに確実に付け根部分61からの横漏れを防止できる。
- [0120] [その他の実施形態]
- 上述したように、本発明の実施形態を通じて本発明の内容を開示したが、この開示の一部をなす論述及び図面は、本発明を限定するものであると理解すべきではない。この開示から当業者には様々な代替実施の形態、実施例及び運用技術が明らかとなろう。
- [0121] 例えば、本発明の実施形態は、次のように変更することができる。具体的には、吸収性物品1は、生理用ナプキンであるものとして説明したが、これに限定されるものではなく、例えば、失禁パットやパンティーライナー、使い捨ておむつなどであってもよい。
- [0122] また、ウィング部60は、裏面シート20及びサイドシート40によって

構成されるものとして説明したが、これに限定されるものではなく、例えば、表面シート10と裏面シート20とによって構成されていてもよく、表面シート10や裏面シート20以外のシートによって形成されていてもよいことは勿論である。

[0123] また、ウイング部60は、前方ウイング部60Aと後方ウイング部60Bとによって構成されるものとして説明したが、これに限定されるものではなく、吸収体30よりも幅方向W外側に延出する部分であればよい。

[0124] また、ウイング部60における裏面シート20側の面には、ズレ止め部70が設けられるものとして説明したが、これに限定されるものではなく、ズレ止め部70が設けられていなくてもよいことは勿論である。

[0125] また、ウイング部60は、ギャザー50と色相が異なるものとして説明したが、これに限定されるものではなく、ギャザー50と色相が同一であってもよい。

[0126] また、ギャザー50の内部には、紐状体80が伸張された状態で設けられるものとして説明したが、これに限定されるものではなく、紐状体80が設けられていなくてもよい。例えば、ギャザー50を構成するシート自体が伸張性を有していてもよい。なお、ギャザー50の形状や折り返し方については、上述した各実施形態で説明した以外であってもよいことは勿論である。

[0127] また、ギャザー50の少なくとも一部は、接合部分58を有するものとして説明したが、これに限定されるものではなく、接合部分58を有していなくてもよい。

[0128] また、接合部分58は、ホットメルト等の接着剤によりウイング部60に接合されるものとして説明したが、これに限定されるものではなく、例えば、エンボスやソニックシールなどによりウイング部60に接合されてもよい。

[0129] また、接合部分58（前方接合部分58A及び後方接合部分58B）は、基準線SL近傍に位置するものとして説明したが、これに限定されるものではなく、例えば、基準線SL上に位置していてもよく、基準線SLに対して

吸収性物品 1 の幅方向W内側又は外側に位置していてもよい。

[0130] また、前方接合部分 58A における吸収性物品 1 の長手方向Lに沿った長さL1は、ズレ止め部70における吸収性物品 1 の長手方向Lに沿った長さL2よりも長いものとして説明したが、これに限定されるものではなく、長さL2と同一であってもよく、長さL2よりも短くてもよい。

[0131] また、前方接合部分 58A は、吸収性物品 1 の平面視において、中心線CL1を含む位置に設けられるものとして説明したが、これに限定されるものではなく、中心線CL1を含まない位置（例えば、中心線CL1よりも前方側又は後方側）に設けられていてもよい。

[0132] また、後方接合部分 58B は、吸収性物品 1 の平面視において、中心線CL2を含む位置に設けられるものとして説明したが、これに限定されるものではなく、中心線CL2を含まない位置（例えば、中心線CL2よりも前方側又は後方側）に設けられていてもよい。

[0133] このように、本発明は、ここでは記載していない様々な実施の形態などを含むことは勿論である。したがって、本発明の技術的範囲は、上述の説明から妥当な特許請求の範囲に係る発明特定事項によってのみ定められるものである。

[0134] なお、日本国特許出願第特願2009-002086号（2009年1月7日出願）の全内容が、参照により、本願明細書に組み込まれている。

産業上の利用可能性

[0135] 以上のように、本発明によれば、防漏部がウイング部の付け根部分よりも吸収性物品の幅方向外側に延出しているため、確実に横漏れが防止できる。また、ウイング部がショーツに折り返されても、ウイング部の付け根部分がウイング部とともに折り返されることがないため、表面シートや前方ウイング部に皺が発生することなく、使用時に違和感を着用者に与えることがない。従って、生理用ナプキン、失禁パット、パンティーライナーなどの吸収性物品に有用である。

符号の説明

[0136] 1, 1A~1G…吸収性物品、10…表面シート、10A…表面側シート、20…裏面シート、30…吸収体、31…両側縁部、40…サイドシート、50, 150, 250, 350…ギャザー（防漏部）、51A, 151A, 251A, 351A…前端部分、51B, 151B, 251B, 351B…後端部分、52, 152, 252…ギャザー本体部、252A…外側面、252B…内側面、53, 153, 253…最外片部分、53A, 153A, 253A…最外面、53B, 153B…最内面、54, 154, 254…下片部分、55, 155, 255…連続部分、56, 156, 256…固定端、57, 157, 257…自由端、58, 158, 258, 458…接合部分、58A, 158A, 258A…前方接合部分、58B, 158B, 258B…後方接合部分、258C…前端接合部分、60…ウイング部、60A…前方ウイング部、60B…後方ウイング部、61…付け根部分、70…ズレ止め部、80…紐状体、90…防水シート、360, 460…カバー部、360A, 460A…長延出部分、360B, 460B…短延出部分

請求の範囲

- [請求項1] 液透過性の表面シートと、液不透過性の裏面シートと、前記表面シートと前記裏面シートとの間に設けられる吸収体とを備える吸収性物品であって、
- 前記吸収体よりも前記吸収性物品の幅方向外側に設けられ、着用者の股下部に対応する股下領域において前記吸収体の幅方向外側に延出する前方ウィング部と、
- 前記吸収体の両側縁部に設けられ、前記吸収性物品の長手方向に沿って延び、着用者の体液が前記吸収性物品から漏れることを防止する防漏部と
- を備え、
- 前記前方ウィング部は、前記前方ウィング部のうち最も前記吸収性物品の幅方向内側に位置する付け根部分を有し、
- 前記防漏部は、前記吸収性物品の平面視において、前記付け根部分よりも前記吸収性物品の幅方向外側に延出する吸収性物品。
- [請求項2] 前記防漏部の少なくとも一部は、前記前方ウィング部と接合される前方接合部分を有し、前記前方接合部分は、前記付け根部分の最も幅方向内側を通り、前記吸収性物品の長手方向に沿って延びる基準線上、または前記基準線よりも幅方向外側に位置する請求項1に記載の吸収性物品。
- [請求項3] 前記吸収体よりも前記吸収性物品の幅方向外側に設けられ、前記前方ウィング部よりも着用者の後ろ側に対応する後方領域において前記吸収体の幅方向外側に延出する後方ウィング部をさらに備え、
- 前記防漏部の少なくとも一部は、前記後方ウィング部と接合される後方接合部分を有する請求項1または2に記載の吸収性物品。
- [請求項4] 前記防漏部は、前記吸収性物品の長手方向に伸縮性を有する請求項1乃至3の何れか一項に記載の吸収性物品。
- [請求項5] 前記前方接合部分は、前記前方ウィング部における前記吸収性物品

の長手方向中心を通り、前記吸収性物品の幅方向に沿って延びる中心線を含む位置に設けられる請求項 2 乃至 4 の何れか一項に記載の吸収性物品。

[請求項6]

前記防漏部は、
前記両側縁部に固定される固定端と、
前記着用者の前側に位置する前端部分と、
前記着用者の後ろ側に位置する後端部分と
を備え、

前記前端部分及び前記後端部分は、前記固定端を基点として前記表面シートから離れる起立方向へ折り返されて前記表面シート上に畳まれた状態において、前記吸収性物品に接合される請求項 1 乃至 5 の何れか一項に記載の吸収性物品。

[請求項7]

前記防漏部は、前記吸収性物品の長手方向に沿って設けられ、前記固定端の他端となる自由端を備え、

前記自由端は、前記防漏部が前記起立方向へ折り返されて前記表面シート上に畳まれた状態において、前記吸収性物品の幅方向外側に向かう請求項 6 に記載の吸収性物品。

[請求項8]

前記防漏部は、前記吸収性物品の長手方向に沿って設けられ、前記固定端の他端となる自由端を有し、

前記自由端は、前記防漏部が前記起立方向へ折り返されて前記表面シート上に畳まれた状態において、前記吸収性物品の幅方向内側に向かう請求項 6 に記載の吸収性物品。

[請求項9]

前記防漏部は、前記防漏部が前記起立方向へ折り返されて前記表面シート上に畳まれた状態において、最も前記着用者側に位置する最外面を有し、

前記最外面の少なくとも一部は、前記前方ウィング部と前記前方接合部分にて接合される請求項 7 又は 8 に記載の吸収性物品。

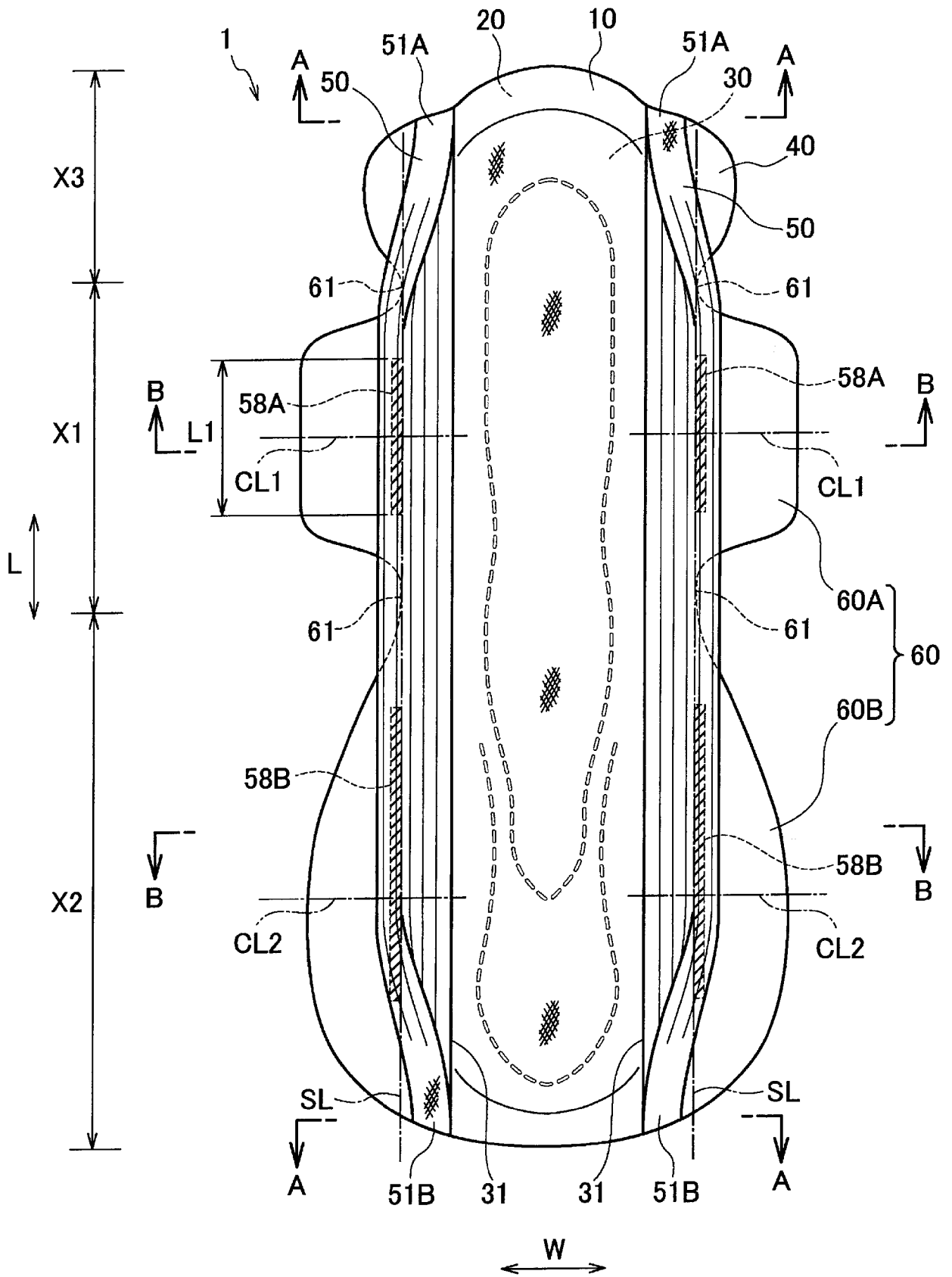
[請求項10]

前記吸収体よりも前記吸収性物品の幅方向外側に設けられ、前記前

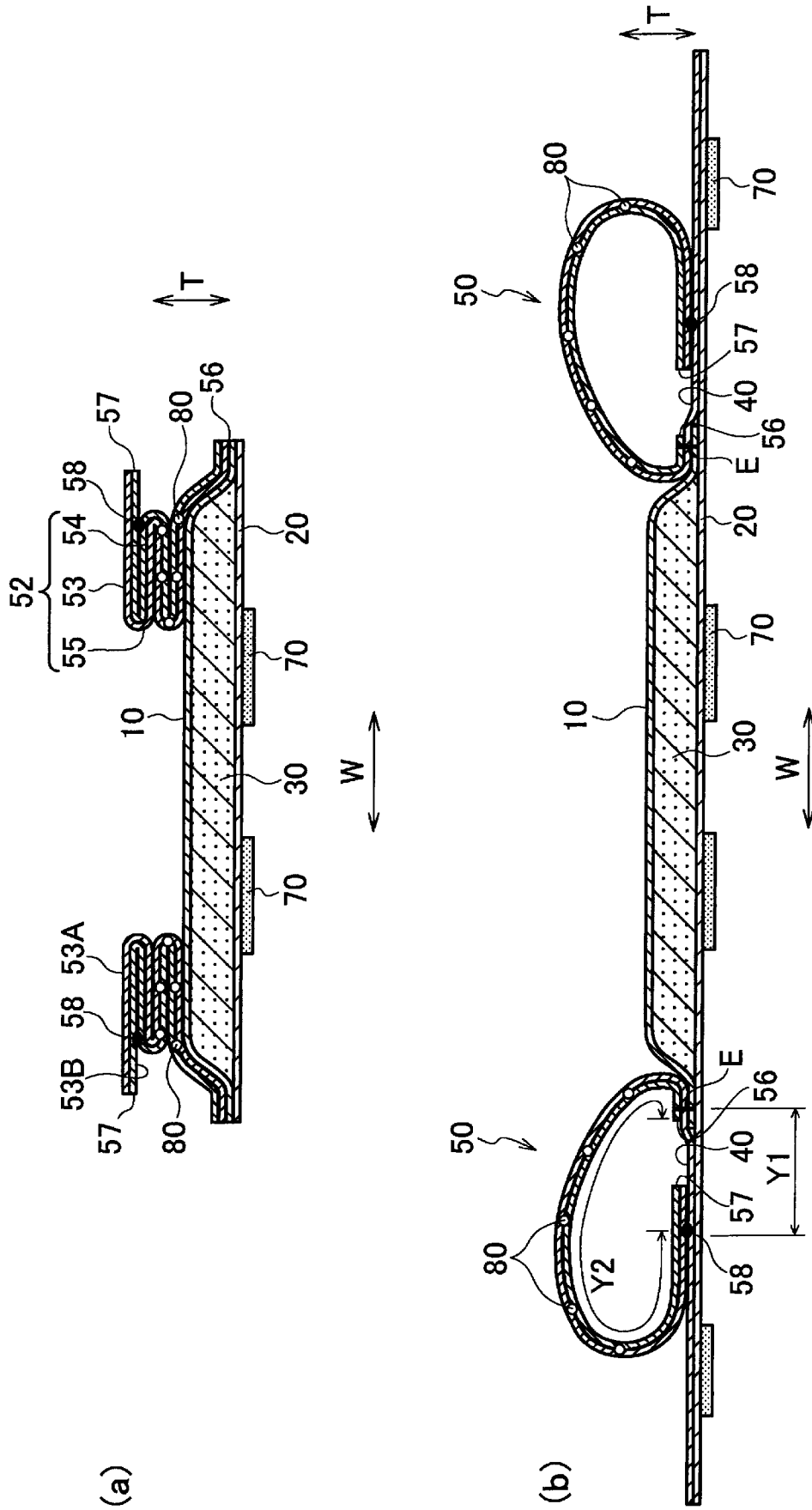
方ウィング部よりも着用者の後ろ側に対応する後方領域において前記吸収体の幅方向外側に延出する後方ウィング部をさらに備え、

前記最外面の少なくとも一部は、前記後方ウィング部と接合される後方接合部分を有する請求項 9 に記載の吸収性物品。

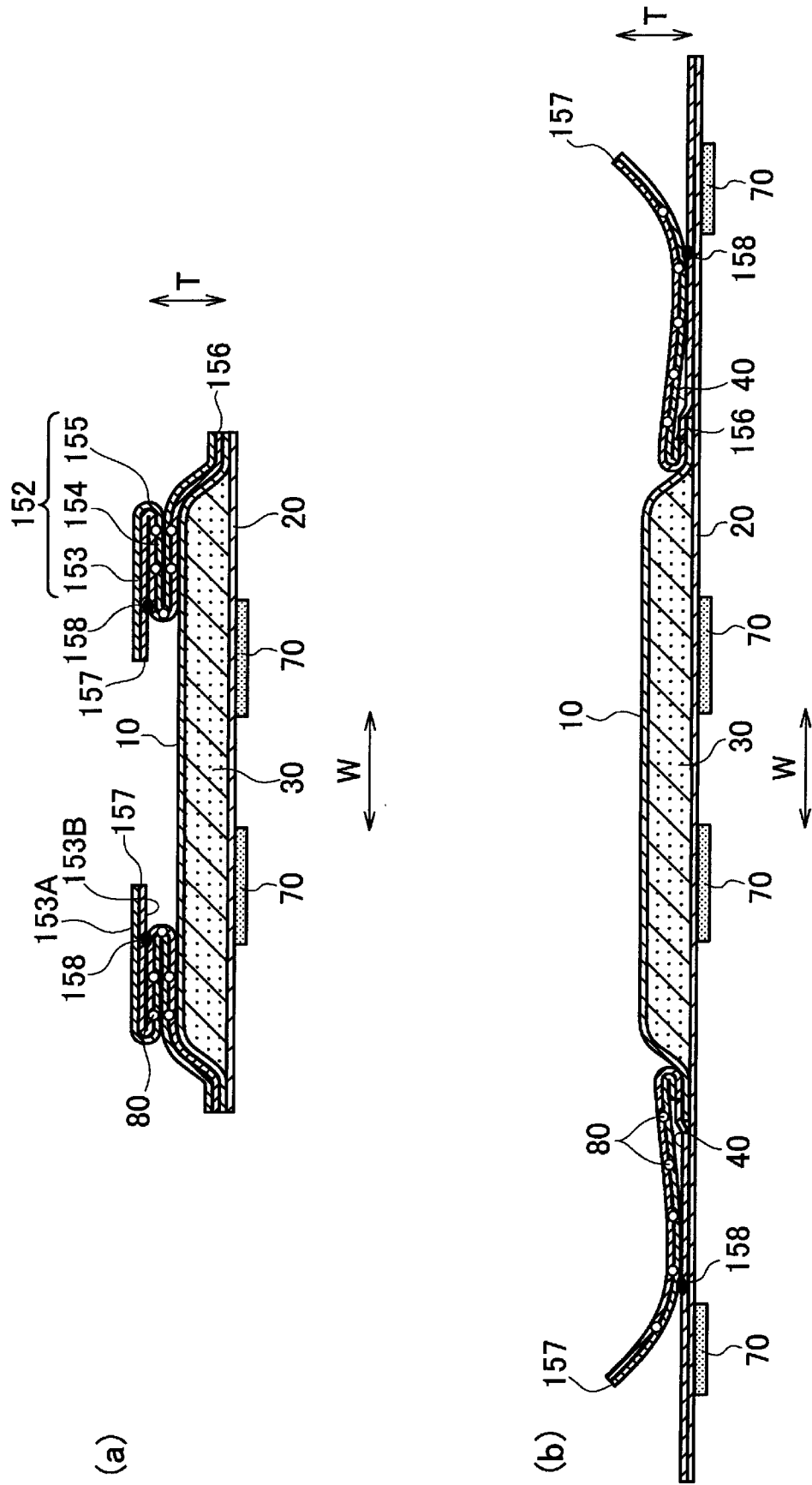
[図1]



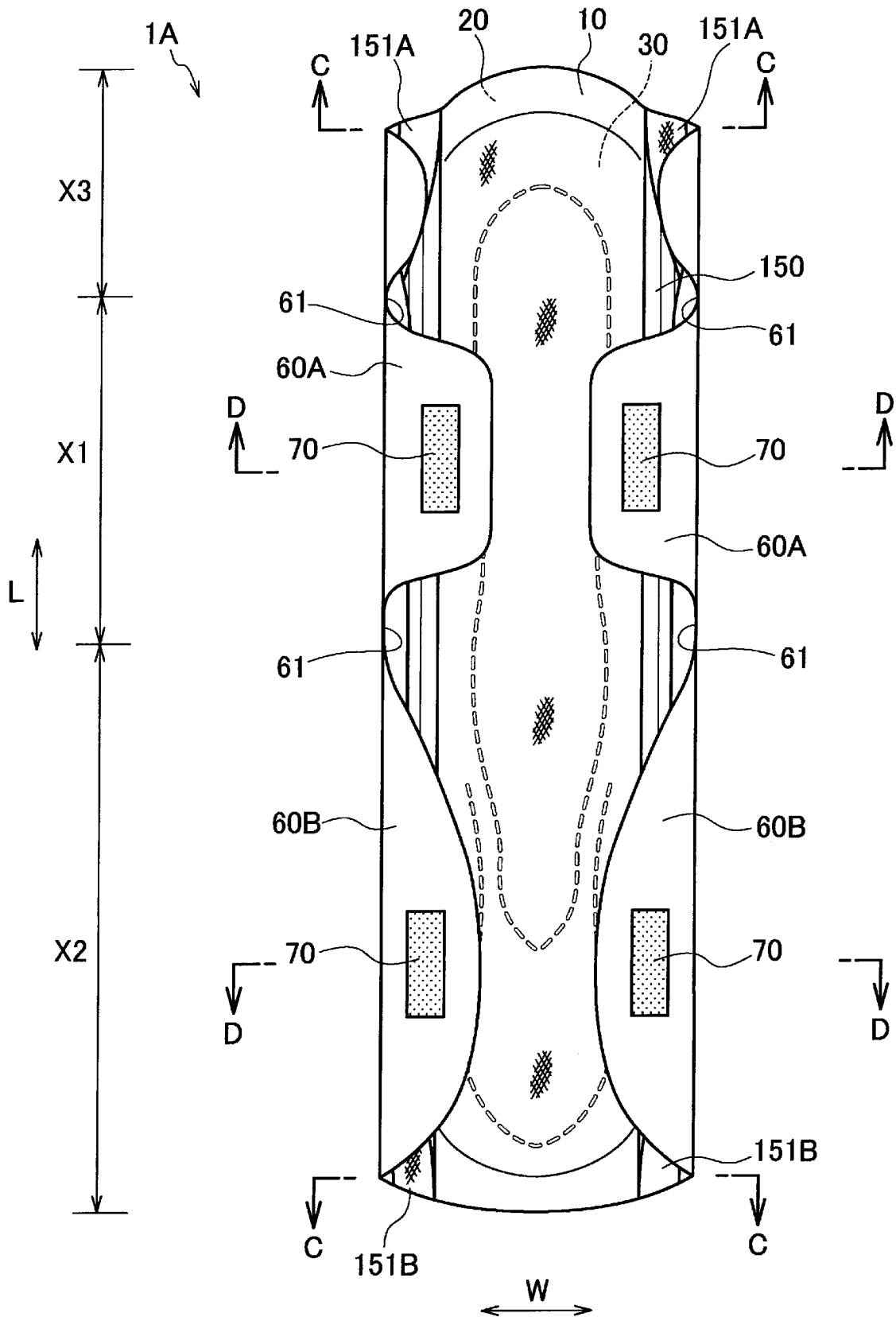
[図2]



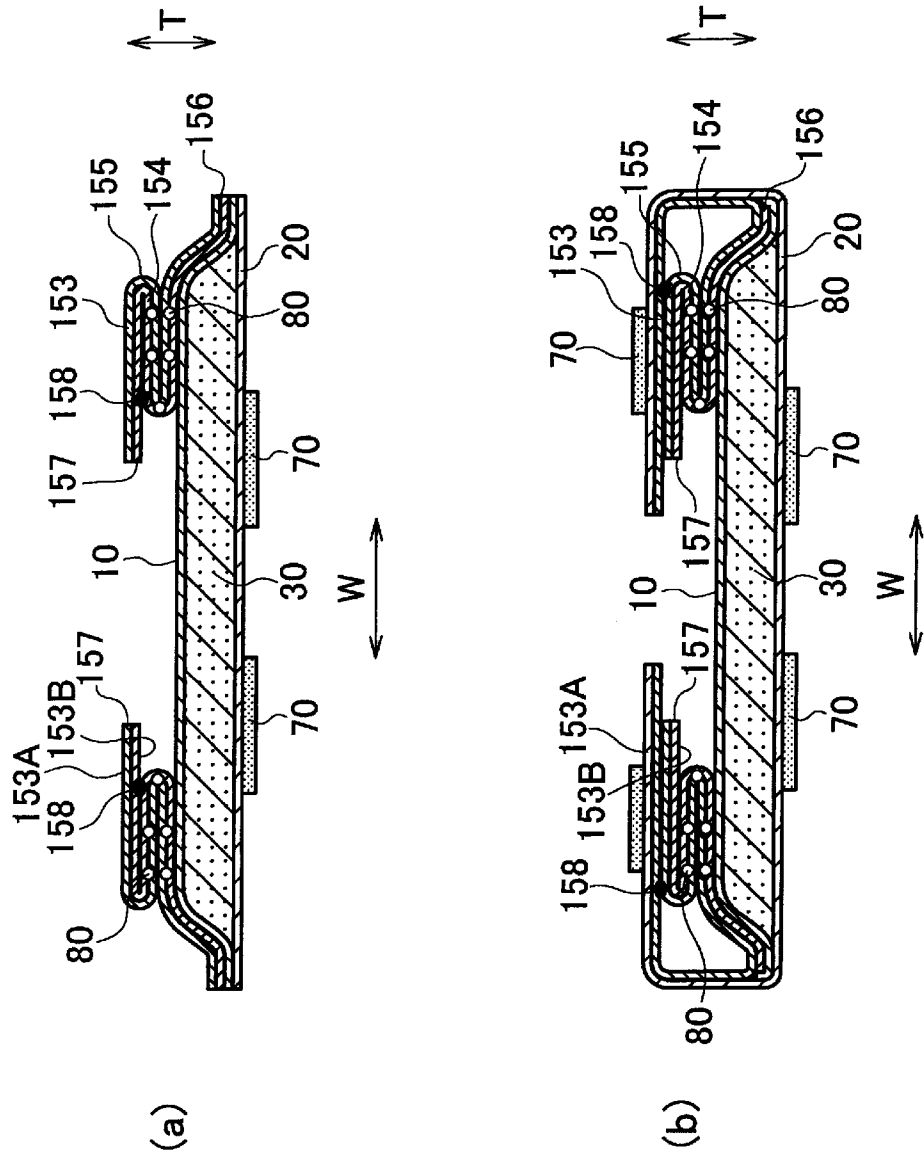
[圖6]



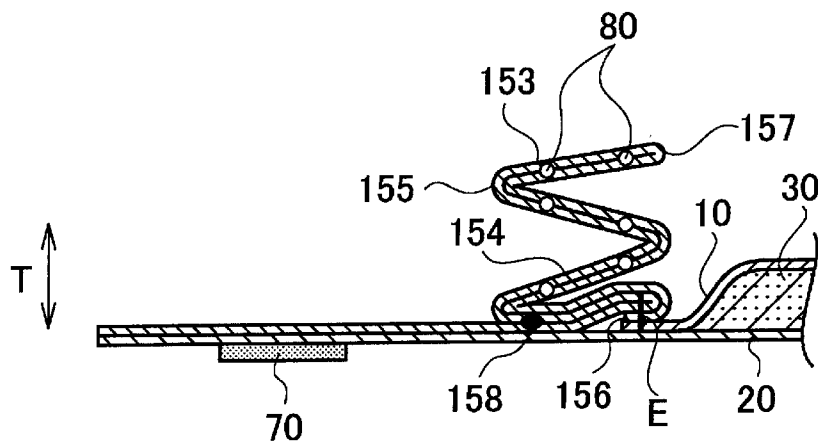
[図7]



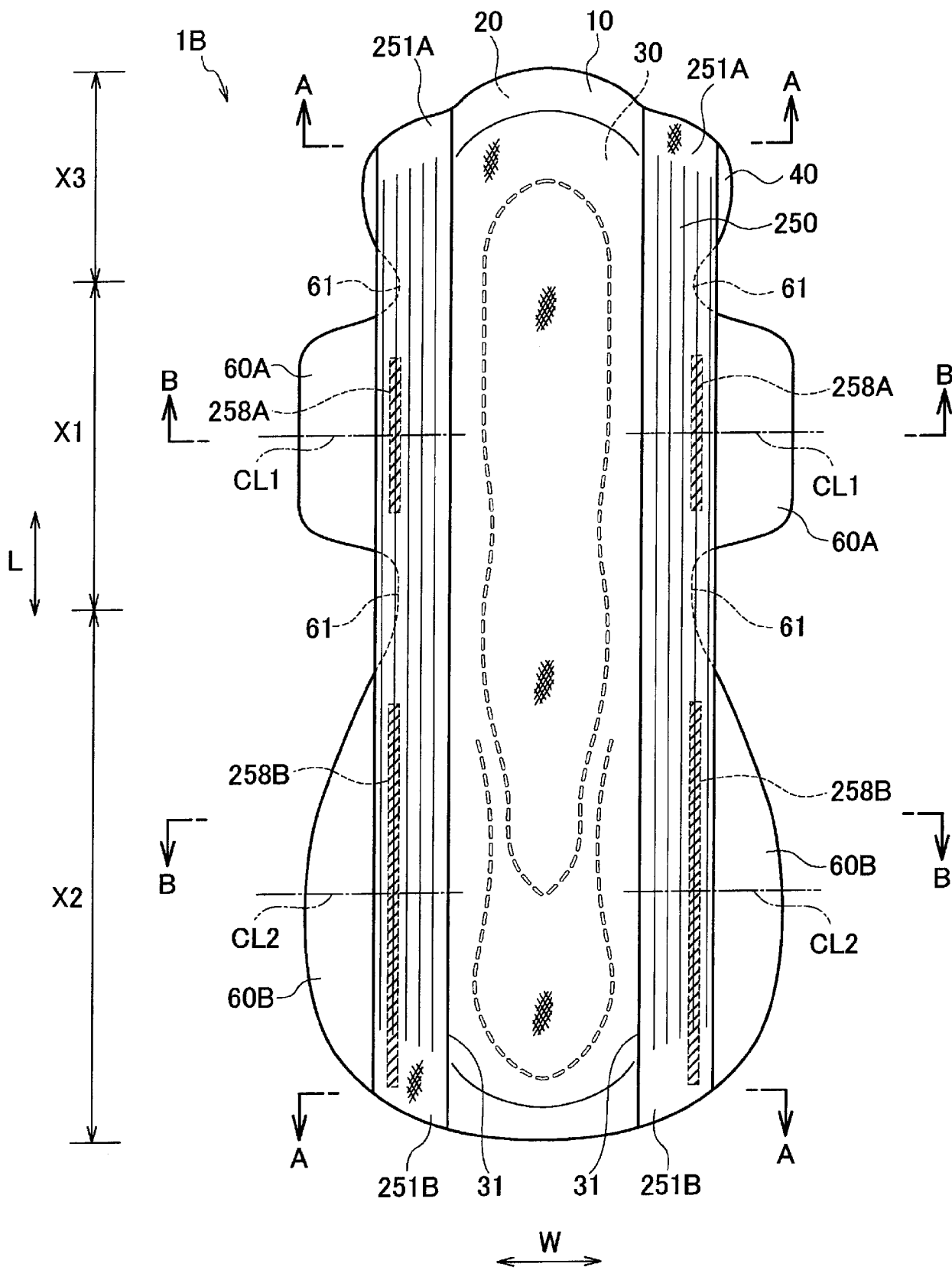
[8]



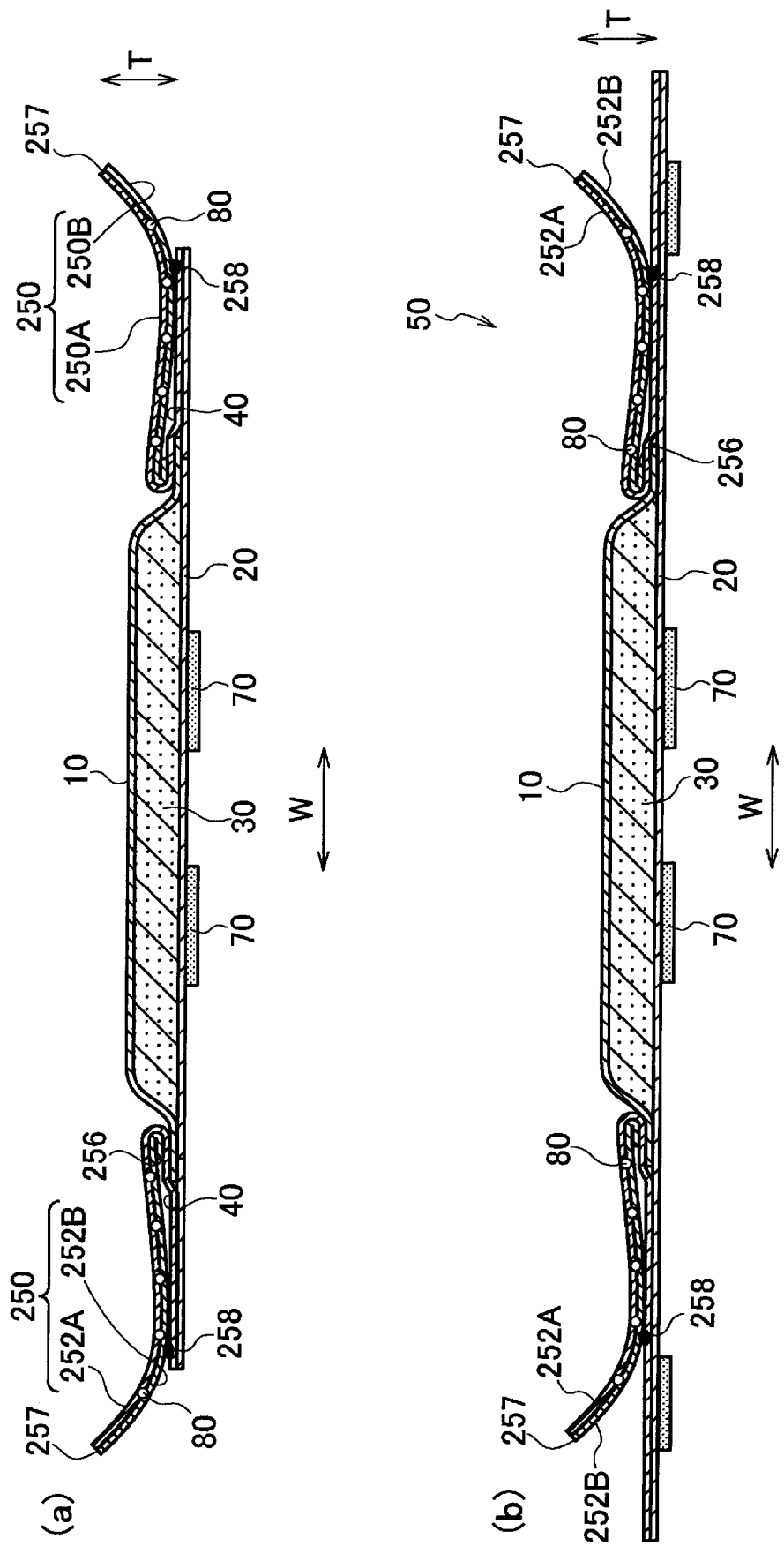
[図9]



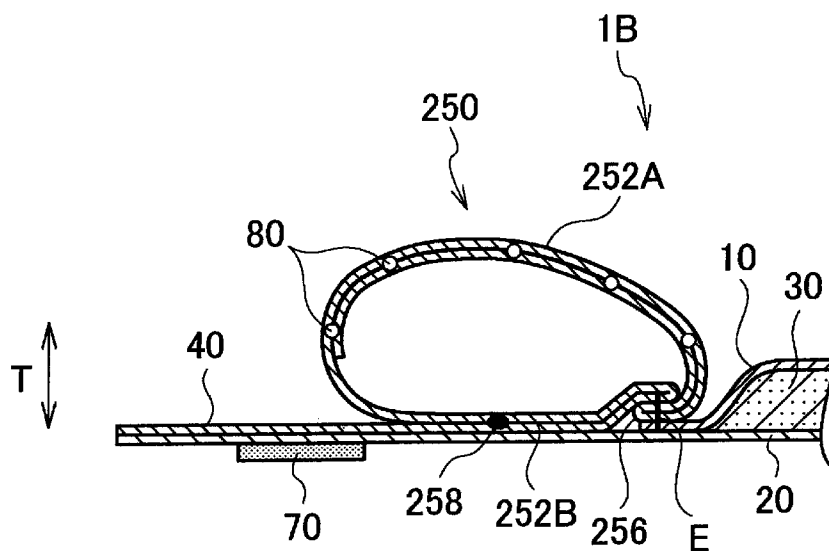
[図10]



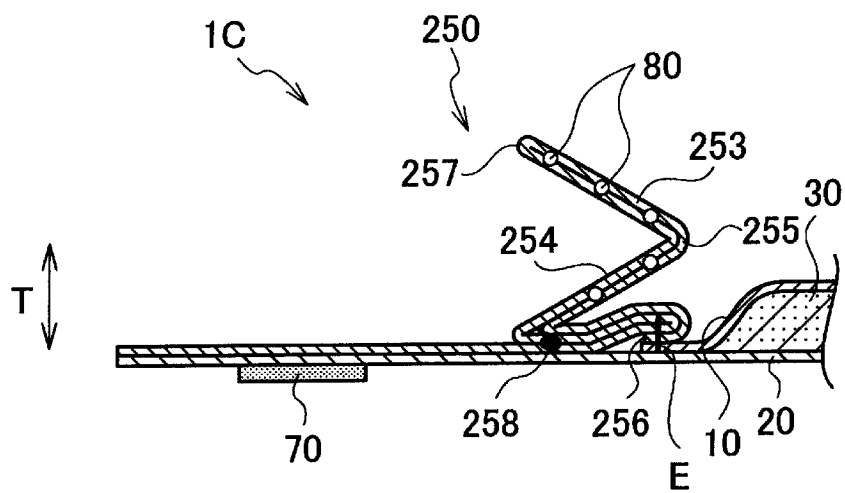
[11]



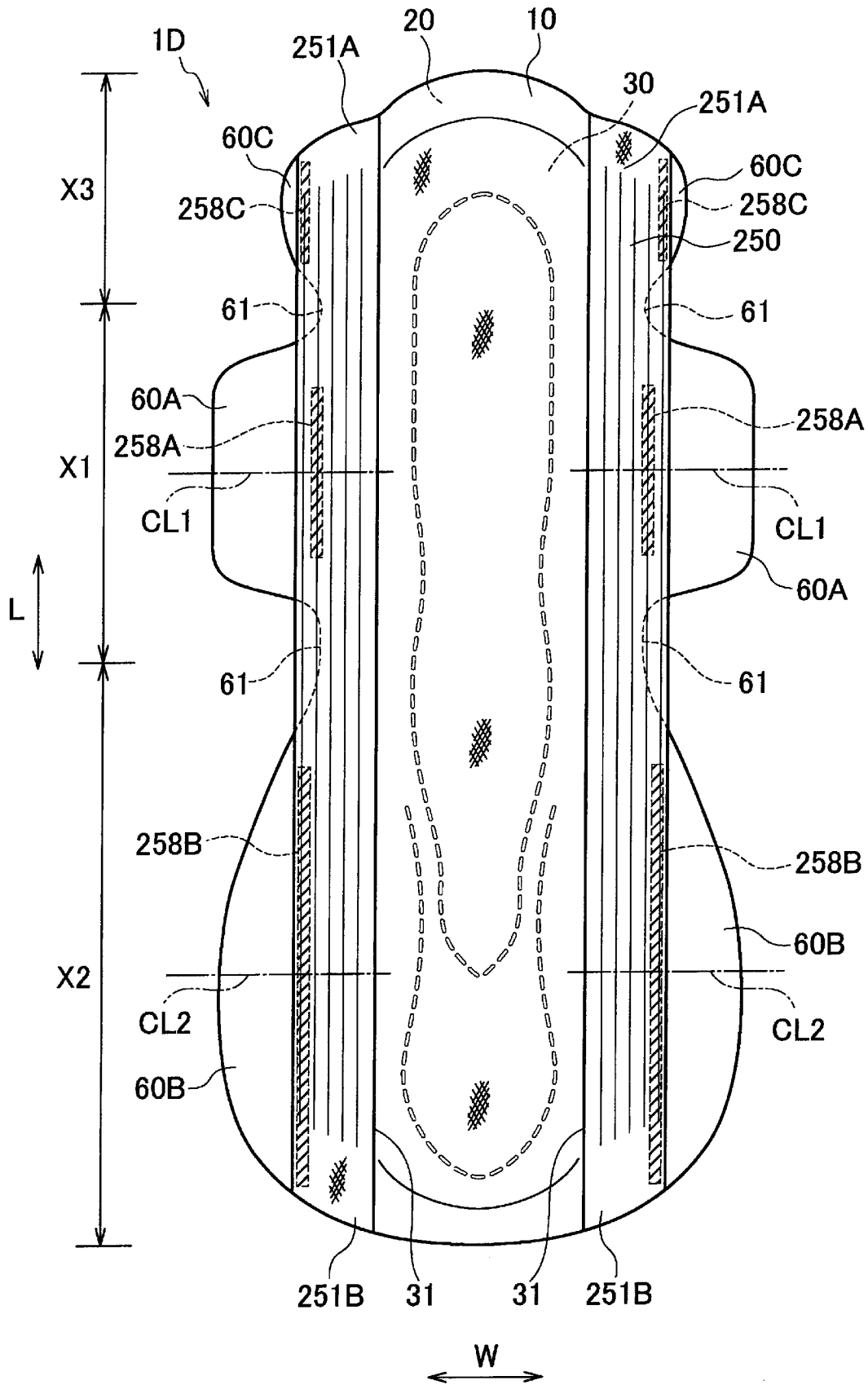
[圖12]



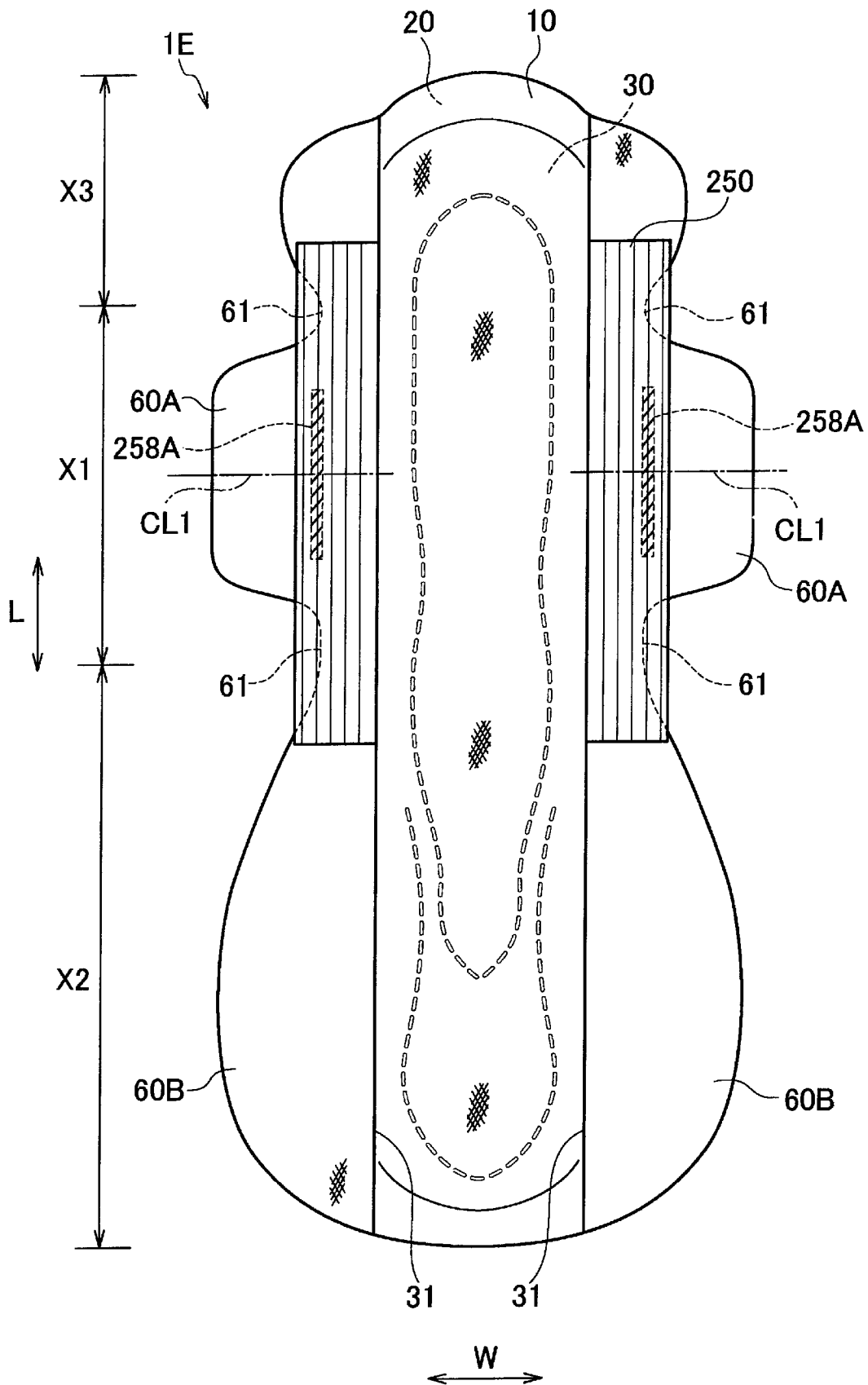
[圖13]



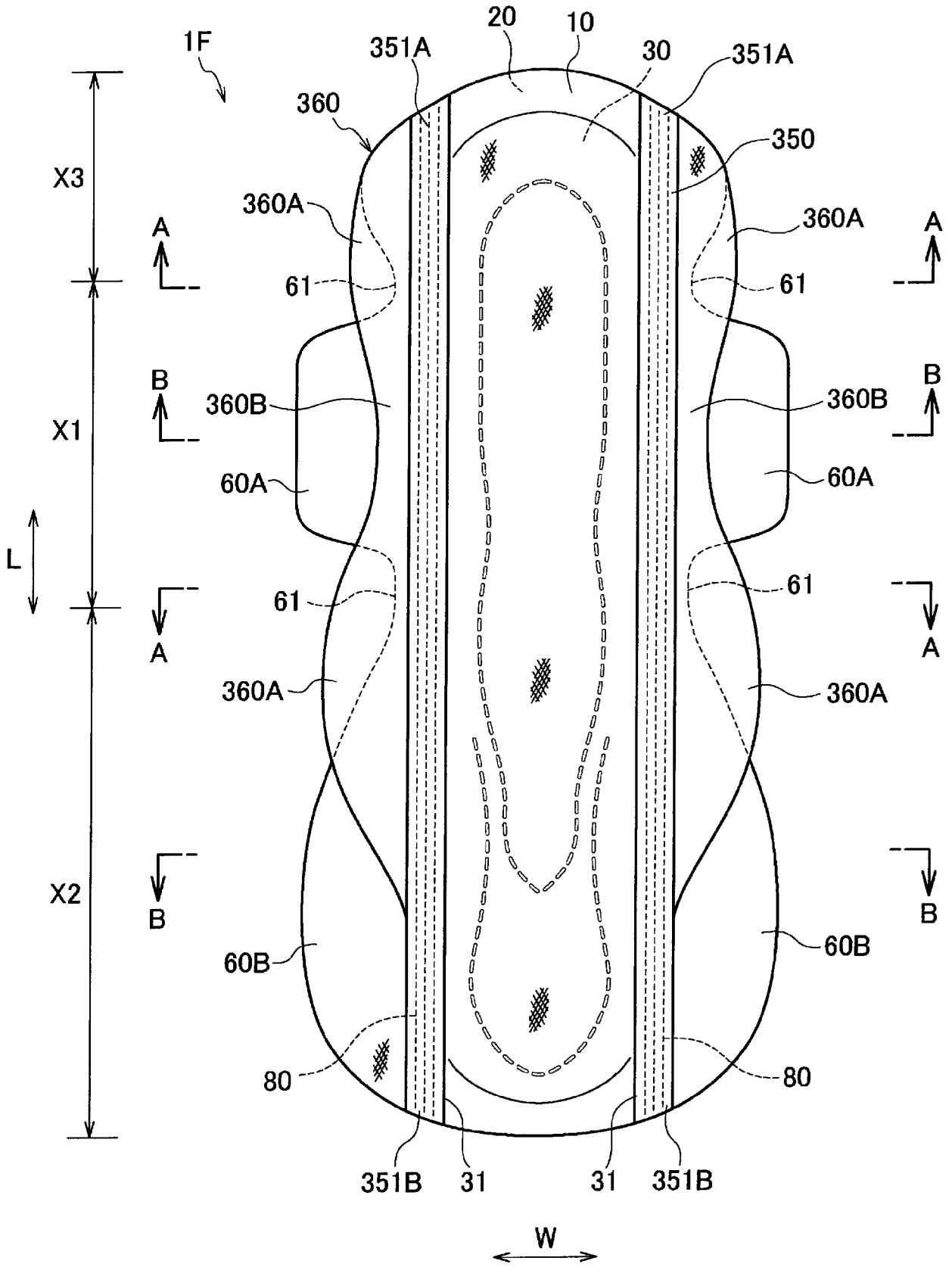
[図14]



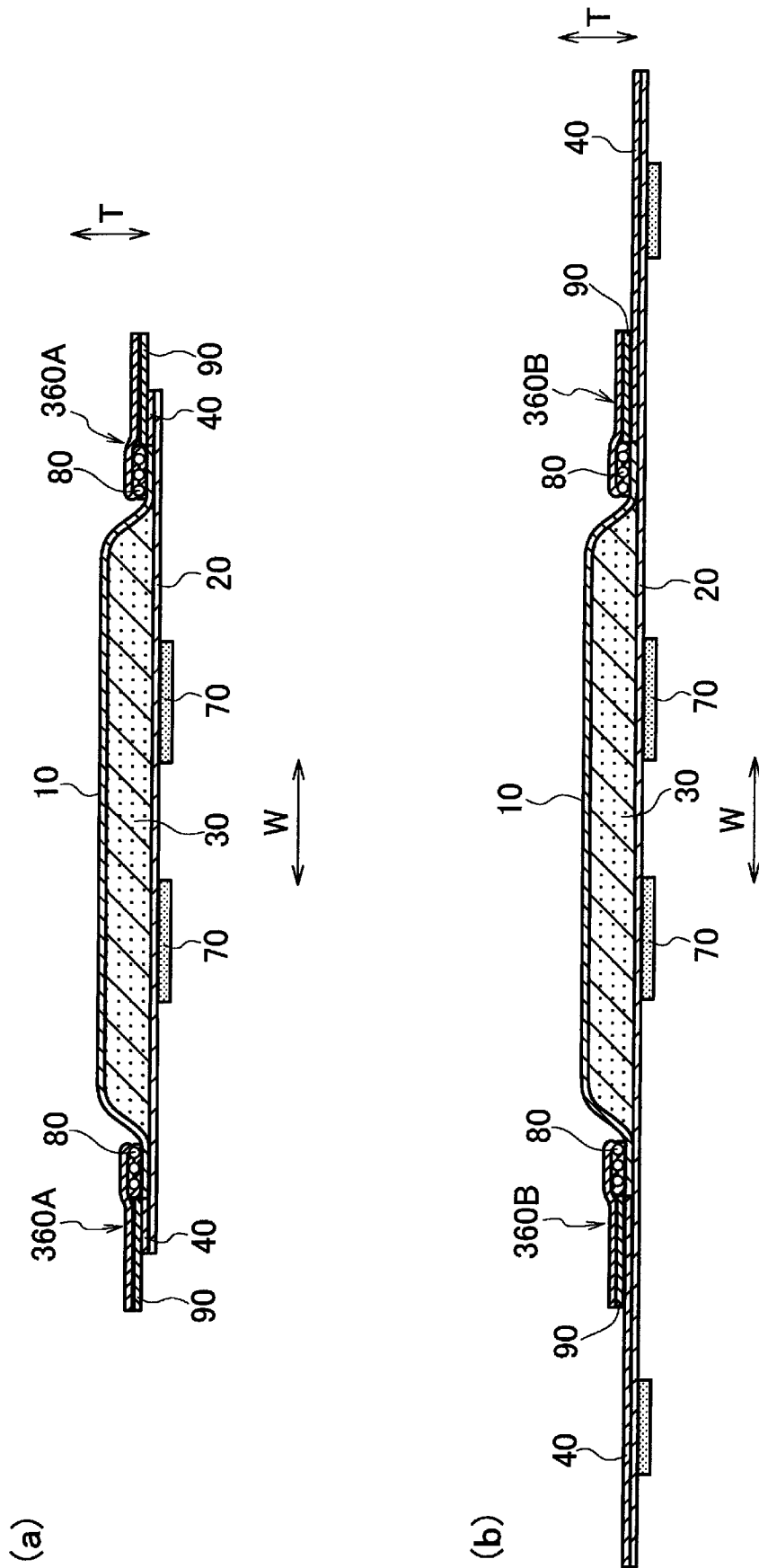
[図15]



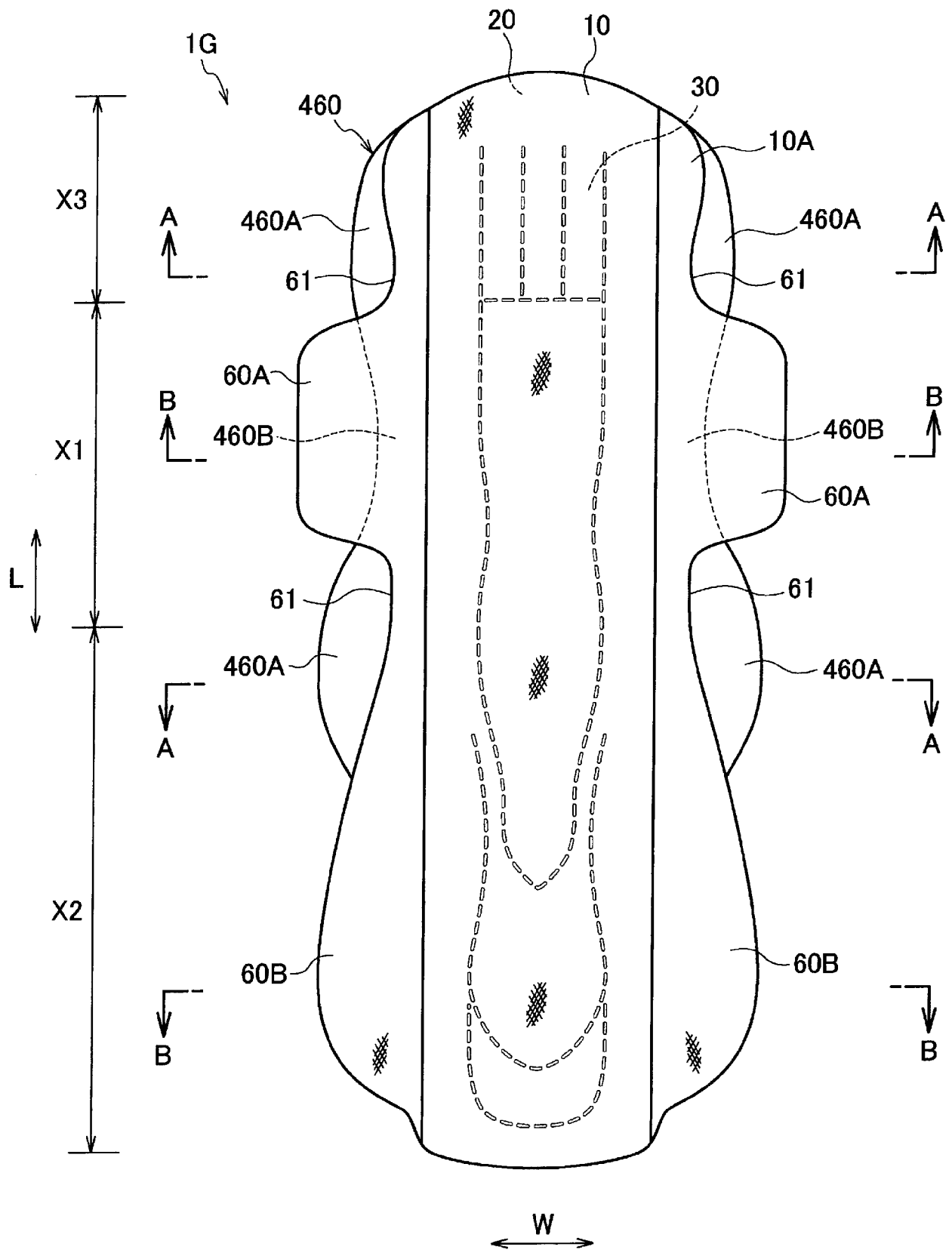
[図16]



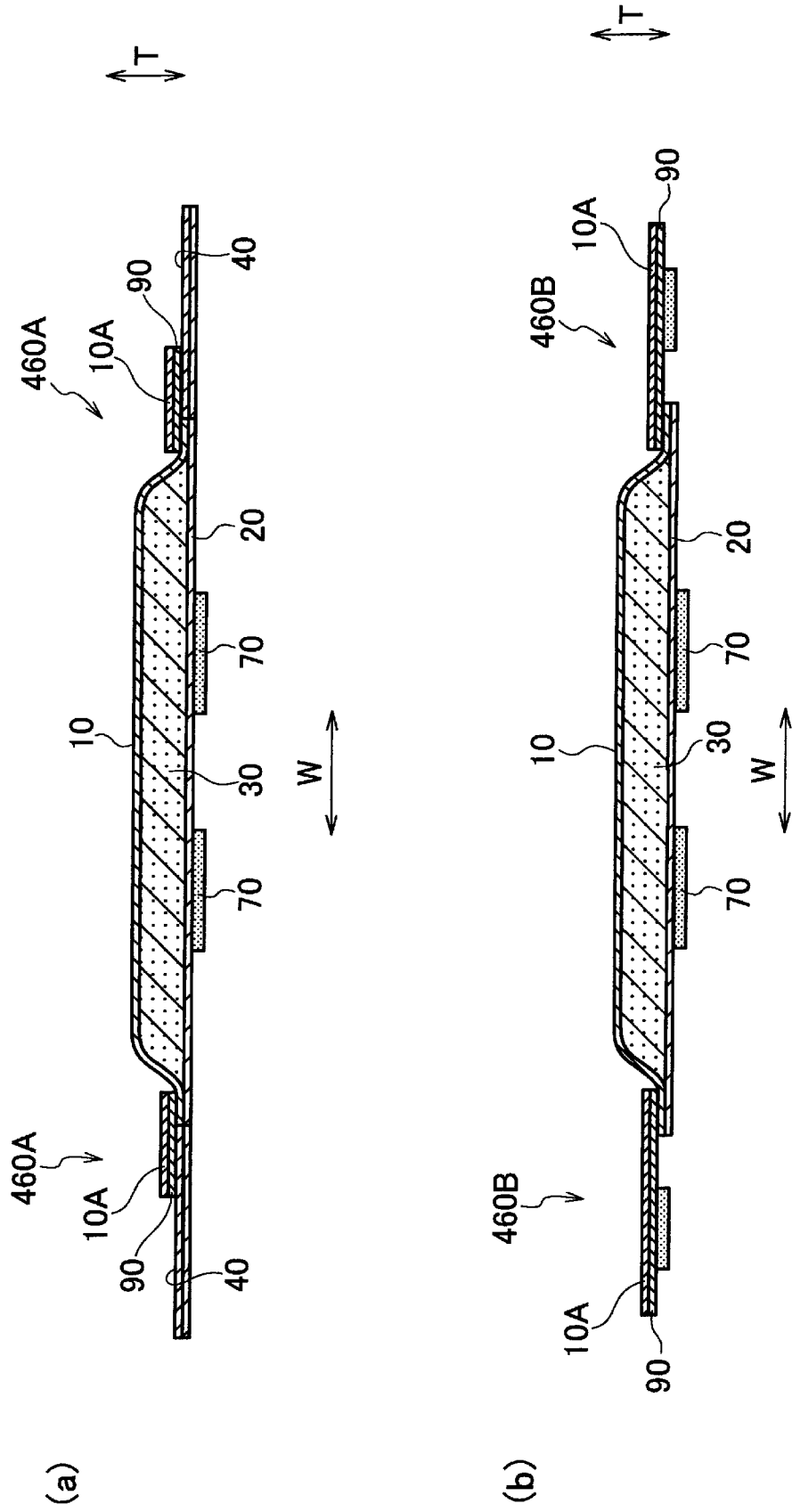
[17]



[圖18]



[19]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2010/050105

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER A61F13/15(2006.01) i, A61F13/472(2006.01) i, A61F13/511(2006.01) i, A61F13/56(2006.01) i		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED		
Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) A61F13/15, A61F13/472, A61F13/511, A61F13/56		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2010 Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2010 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2010		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y A	JP 2003-290277 A (Daio Paper Corp.), 14 October 2003 (14.10.2003), paragraphs [0024], [0043]; fig. 1, 3 (Family: none)	1, 3-4, 6-8 2, 5, 9-10
Y A	JP 8-336556 A (McNEIL-PPC, Inc.), 24 December 1996 (24.12.1996), paragraph [0030]; fig. 1, 3 to 4 & US 5752947 A & EP 740929 A2 & CA 2173312 A & CN 1138976 A	1, 3-4, 6-8 2, 5, 9-10
Y	JP 2007-111555 A (Kao Corp.), 10 May 2007 (10.05.2007), paragraphs [0036] to [0038]; fig. 1, 5 to 7 & US 2003/0144644 A1 & EP 1321118 A1 & CN 1426771 A	3
<input type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input type="checkbox"/> See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed		"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family
Date of the actual completion of the international search 07 April, 2010 (07.04.10)	Date of mailing of the international search report 20 April, 2010 (20.04.10)	
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office	Authorized officer	
Facsimile No.	Telephone No.	

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC)) Int.Cl. A61F13/15(2006.01)i, A61F13/472(2006.01)i, A61F13/511(2006.01)i, A61F13/56(2006.01)i		
B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC)) Int.Cl. A61F13/15, A61F13/472, A61F13/511, A61F13/56		
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1922-1996年 日本国公開実用新案公報 1971-2010年 日本国実用新案登録公報 1996-2010年 日本国登録実用新案公報 1994-2010年		
国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)		
C. 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y A	JP 2003-290277 A (大王製紙株式会社) 2003. 10. 14, 【0024】、 【0043】、図1、図3 (ファミリーなし)	1, 3-4, 6-8 2, 5, 9-10
Y A	JP 8-336556 A (マクニールーピーピーシー・インコーポレーテッド) 1996. 12. 24, 【0030】、図1、図3-4 & US 5752947 A & EP 740929 A2 & CA 2173312 A & CN 1138976 A	1, 3-4, 6-8 2, 5, 9-10
Y	JP 2007-111555 A (花王株式会社) 2007. 05. 10, 【0036】 - 【0 038】、図1、図5-7 & US 2003/0144644 A1 & EP 1321118 A1 &	3
<input checked="" type="checkbox"/> C欄の続きにも文献が列挙されている。 <input type="checkbox"/> パテントファミリーに関する別紙を参照。		
* 引用文献のカテゴリー 「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す) 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願日の後に公表された文献 「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの 「&」 同一パテントファミリー文献		
国際調査を完了した日 07. 04. 2010	国際調査報告の発送日 20. 04. 2010	
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/J P) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 久島 弘太郎 電話番号 03-3581-1101 内線 3320	3B 9725

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
	CN 1426771 A	